

魚沼市
介護予防・日常生活圏域二一ス調査報告書
【概要版】

目 次

1. 調査目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
調査対象者本人について.....	2
■ 日常生活圏域.....	2
■ 性別.....	2
■ 年齢.....	3
■ 認定区分.....	4
家族や生活状況について.....	5
地域での活動について.....	8
たすけあいについて.....	18
健康について.....	20
認知症にかかる相談窓口の把握について.....	21
聞こえ方（聴力）について.....	22
介護保険料について.....	25
評価項目別のリスク分析結果.....	26
1. 運動器の機能.....	26
2. 転倒.....	26
3. 閉じこもり.....	26
4. 低栄養.....	26
5. 口腔機能.....	27
6. 認知機能.....	27
7. うつ傾向.....	27
8. IADL.....	27

1. 調査目的

「魚沼市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定するにあたり、高齢者の日頃の生活や健康・介護に関する実態など、地域の実情を把握し、介護保険サービスや福祉サービス、また健康づくり事業の一層の向上を図るための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査方法

- 調査対象者：令和4年12月1日時点において、魚沼市在住で要介護認定を受けていない65歳以上の市民から無作為抽出した1,500人
- 調査期間：令和5年2月22日～令和5年3月13日
- 調査方法：郵送による配布・回収

3. 回収結果

- 調査対象者数：1,500人
- 回収数（回収率）：1,190（79.3%）
- 有効回答数：1,189

4. 報告書の見方

- ① 報告書中の「n」の数値は、設問への回答者数を表します。
 - ② 回答の比率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。このため、回答率の合計が100.0%にならない場合があります。
 - ③ 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問については、回答率の合計が100.0%を超えることがあります。
 - ④ 年齢など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値とは一致しない場合があります。
 - ⑤ 設問により、令和2年に実施した前回調査結果と比較したグラフや、性別、年齢別等のクロス集計結果のグラフを表記しています。
 - ⑥ クロス集計結果のグラフ凡例については、各グラフの始めの部分のみ表示しています。
- ※ クロスグラフの回答者数（n）が少数の場合、その傾向に注意が必要です。

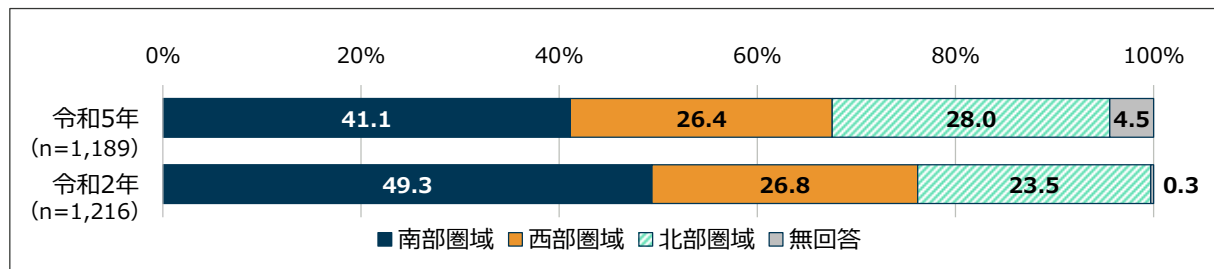
調査対象者本人について

■ 日常生活圏域

介護保険事業計画においては、より地域に密着したサービスを提供し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることを目的に、地理的条件や人口、交通事情その他の社会的条件、高齢者福祉施設の整備の状況などの条件を総合的に勘案し、「日常生活圏域」を設定しています。本市においては、南部圏域・西部圏域・北部圏域の3圏域を「日常生活圏域」として設定しています。

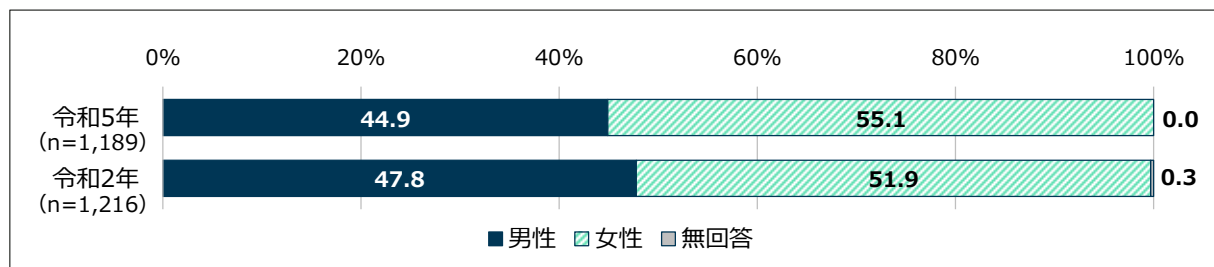
圏域名	対象地域
南部圏域	・小出地域の区域 ・湯之谷地域の区域
西部圏域	・堀之内地域の区域 ・広神地域の一部（藪神地域）の区域
北部圏域	・広神地域の一部（広瀬地域）の区域 ・守門地域の区域 ・入広瀬地域の区域

「南部圏域」が41.1%、「西部圏域」が26.4%、「北部圏域」が28.0%となっています。



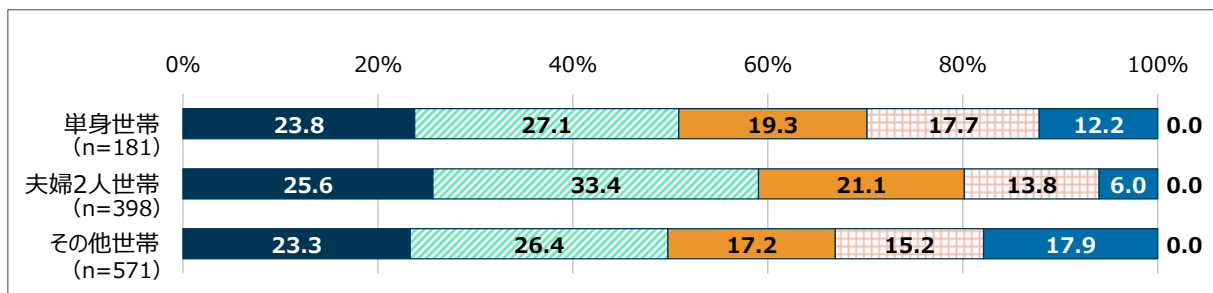
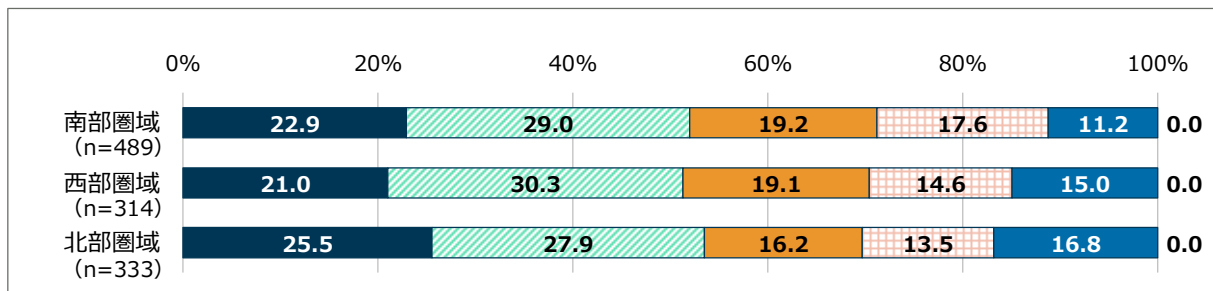
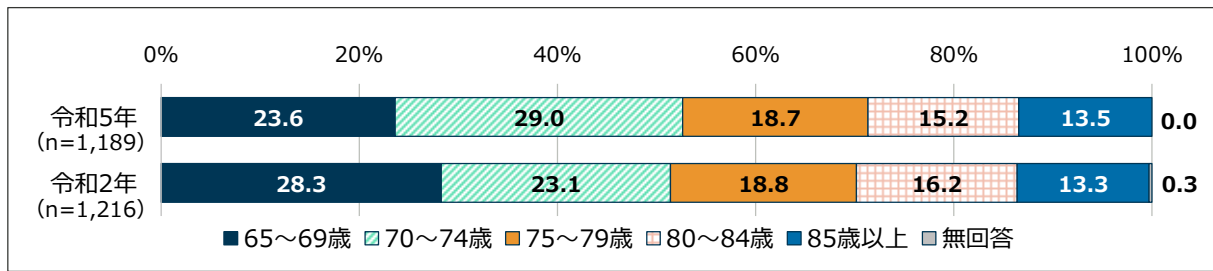
■ 性別

「男性」が44.9%、「女性」が55.1%となっています。



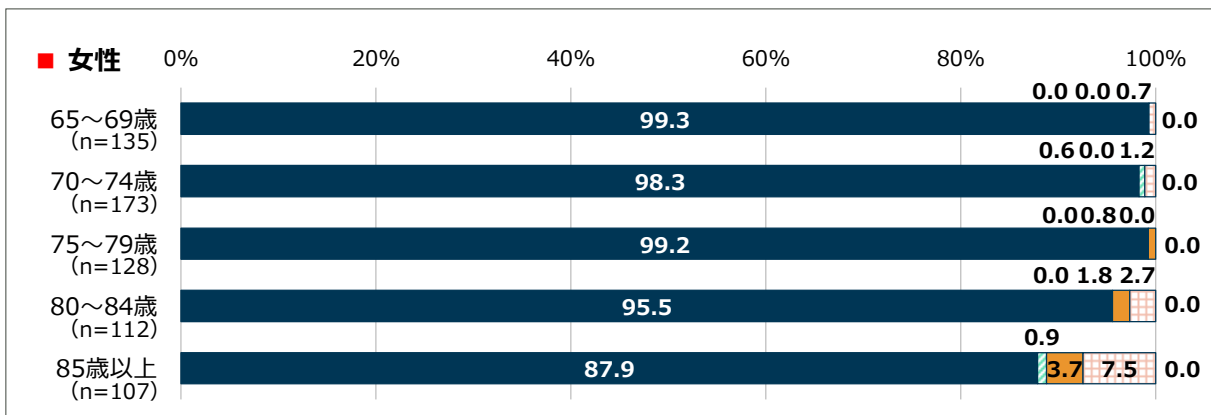
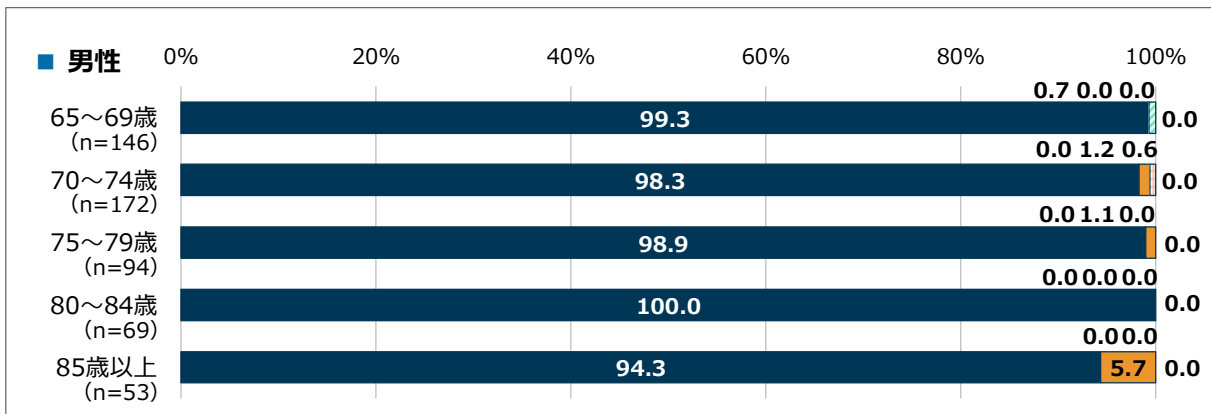
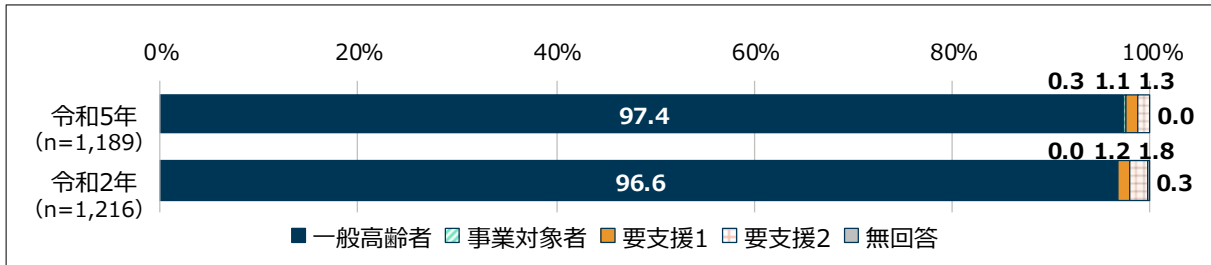
■ 年齢

年齢は65～100歳で、平均年齢は75.5歳となっています。年齢を2区分にすると「65～74歳」が52.6%、「75歳以上」が47.4%となっています。



■ 認定区分

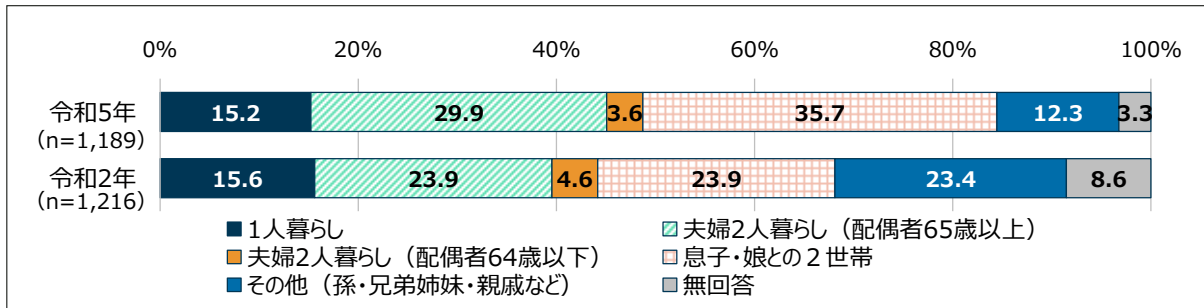
「要支援2」が1.3%、「要支援1」が1.1%、「介護予防日常生活支援総合事業対象者」（以下、事業対象者）が0.3%、「いずれの認定も受けていない一般高齢者」（以下、一般高齢者）が97.4%となっています。



家族や生活状況について

家族構成をお教えてください

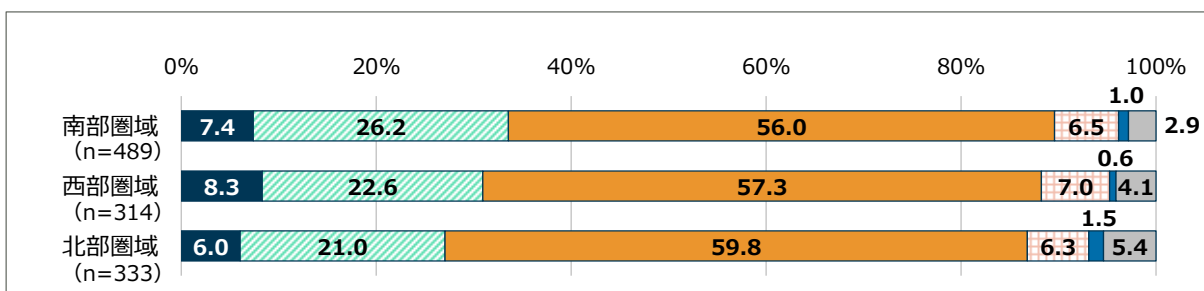
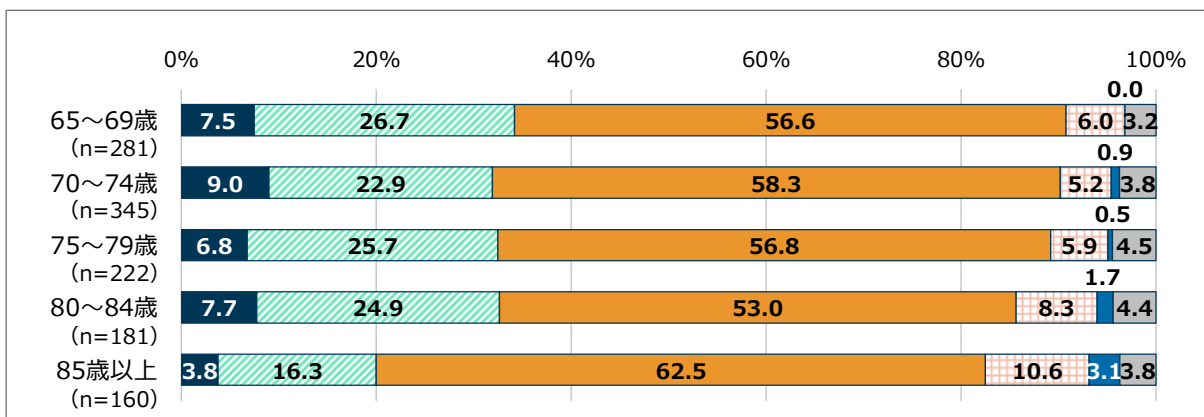
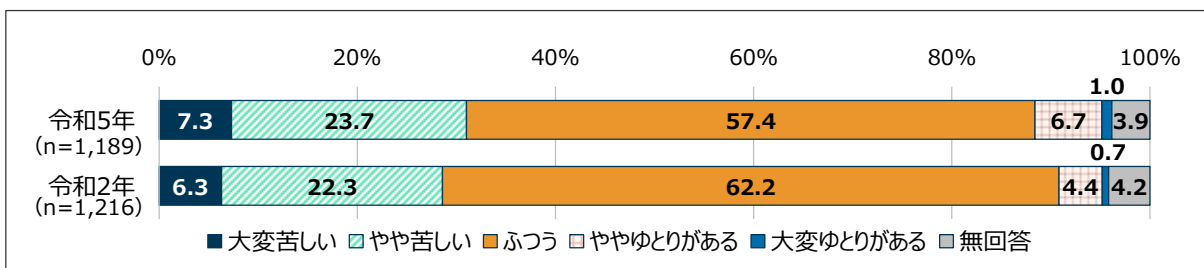
「息子・娘との2世帯」が35.7%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が29.9%、「その他」が12.3%となっています。

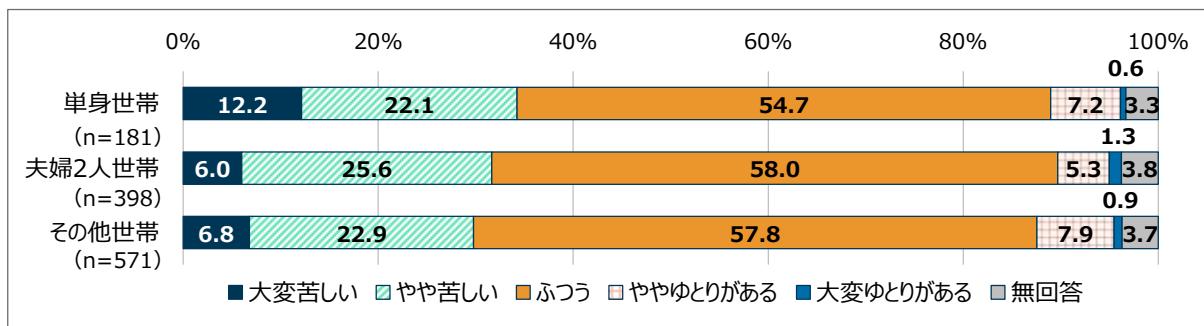


※ 以降のクロス集計では、家族構成を「1人暮らし」である「単身世帯」と、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」と「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」を合わせた「夫婦2人世帯」、それ以外の「その他世帯」の3分類で集計しています。

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

経済的状況は、「ふつう」が最も高く57.4%となっています。



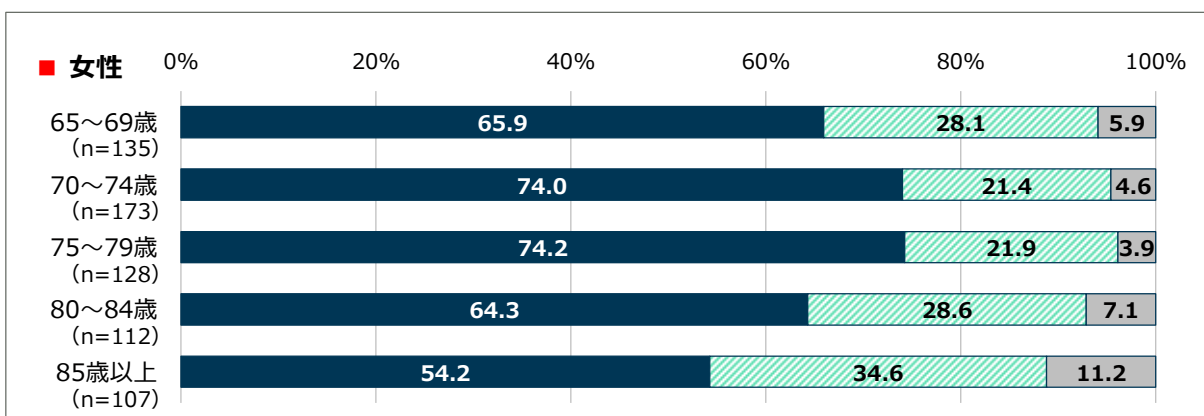
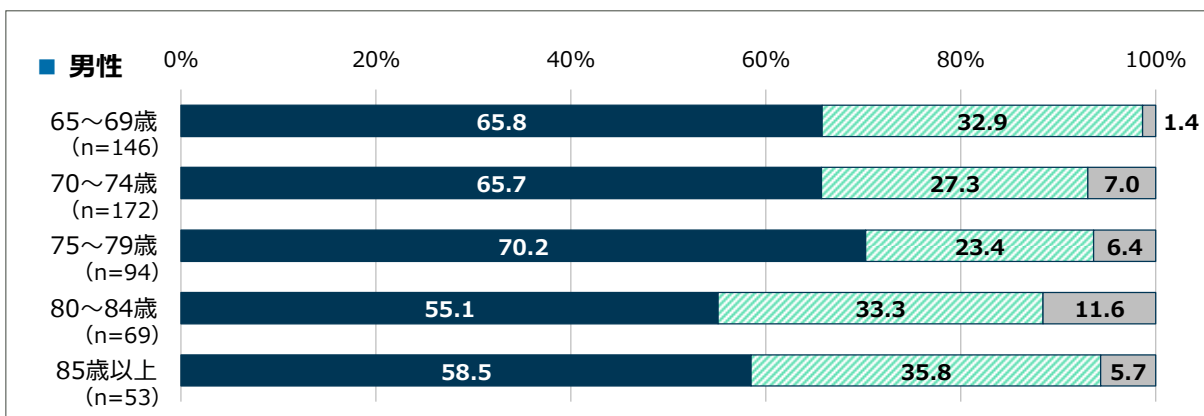
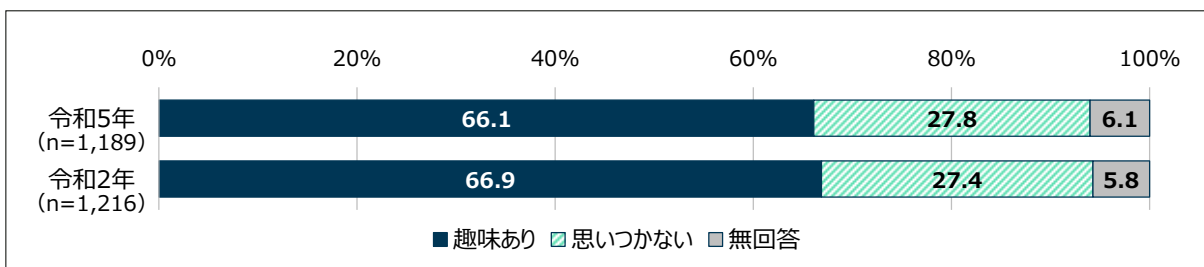


趣味はありますか

「趣味あり」が66.1%、「思いつかない」が27.8%となっています。

具体的な趣味として、ガーデニングや野菜づくり、読書、手芸、ゴルフやスキーなどのスポーツ、山歩きなどさまざまなものがあがっています。

性別・年齢別にみると、女性のほうが「はい」の割合が高くなっています。また、男性・女性ともに75～79歳で「はい」の割合が最も高く、80歳以上では「はい」の割合が低くなる傾向がみられます。

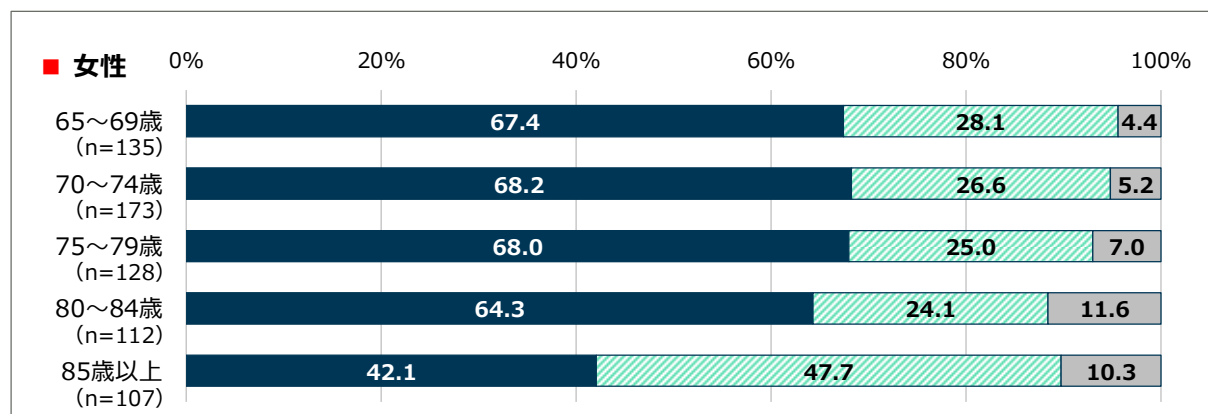
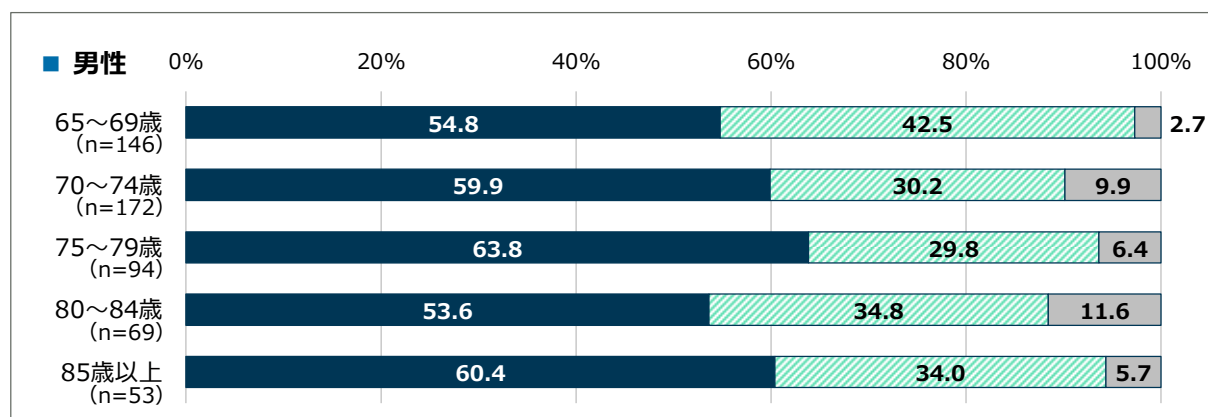
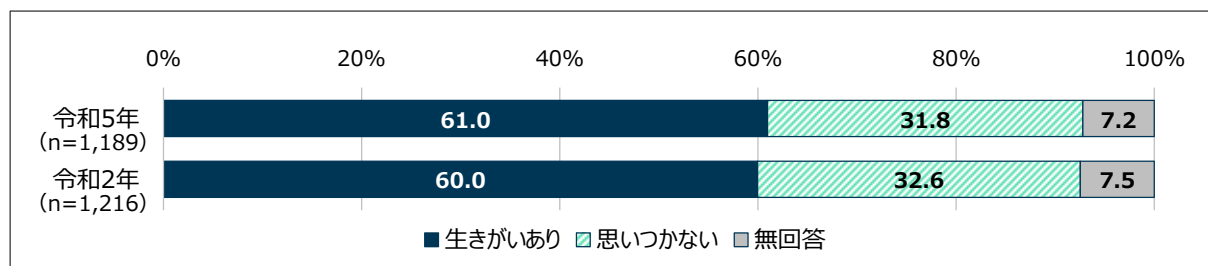


生きがいがありますか

「生きがいあり」が61.0%、「思いつかない」が31.8%となっています。

具体的な生きがいは、子どもや孫の成長など家族に関することが多く、そのほかにも農作業を含めた仕事や趣味、日々健康で楽しく過ごすことなど、さまざまなことがあがっています。

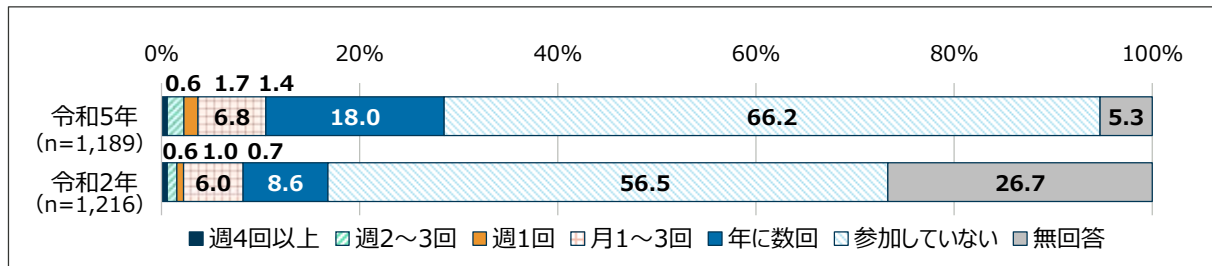
性別・年齢別に明らかな傾向はみられませんでした。「生きがいあり」の割合が最も高いのは70～74歳女性で68.2%、最も低いのは85歳以上女性で42.1%となっています。



地域での活動について

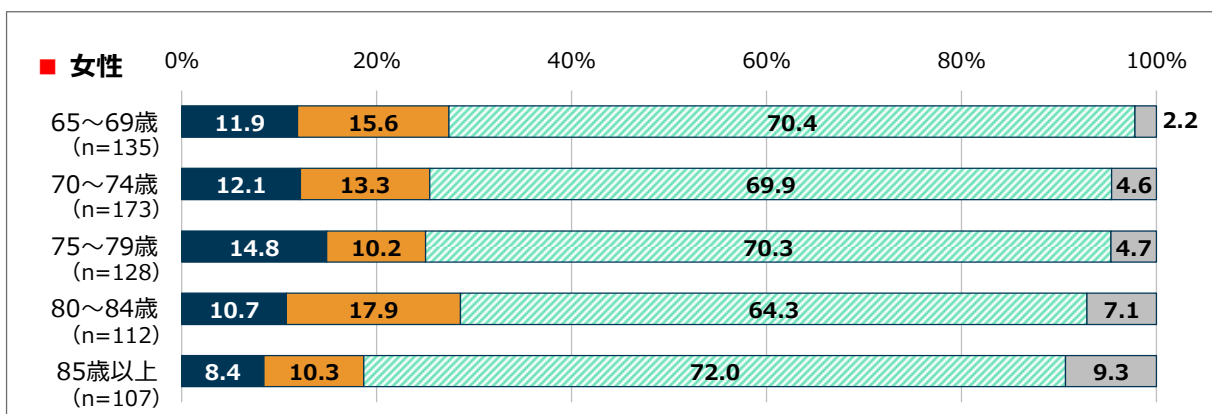
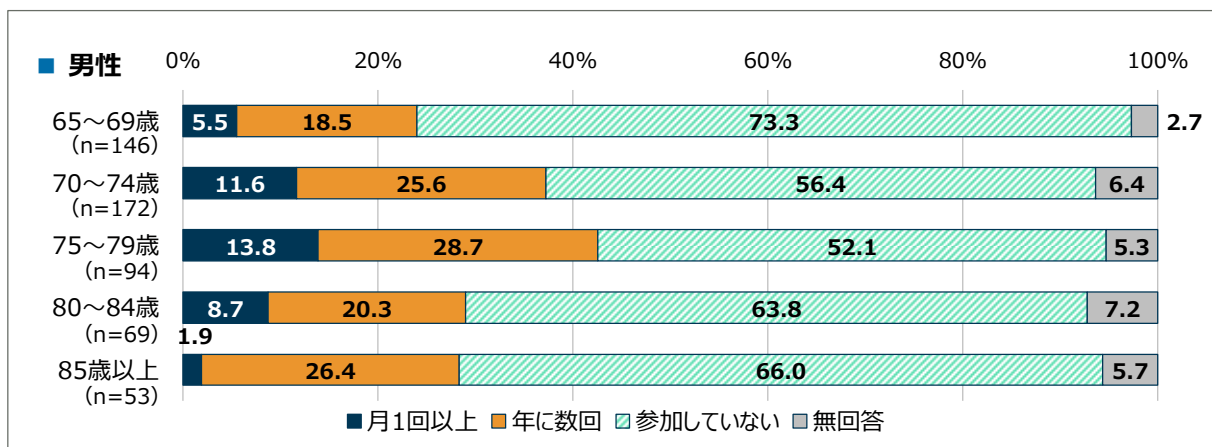
① ボランティアのグループ

月1回以上参加している割合は10.5%で、「参加していない」が66.2%となっています。



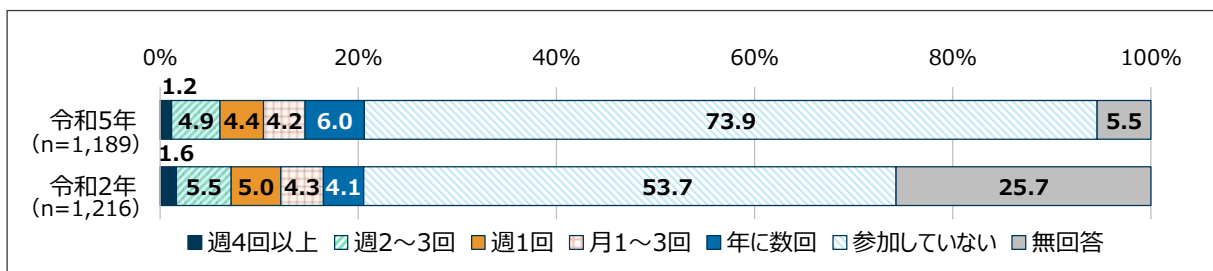
※ 以降のクロス集計では、「週4回以上」と「週2~3回」、「週1回」「月1~3回」を合わせた「月1回以上」、「年に数回」、「参加していない（していない）」の3分類で集計しています。

性別・年齢別にみると、「月1回以上」参加している割合は女性のほうが高くなっていますが、「年に数回」参加している割合は男性のほうが高くなっています。

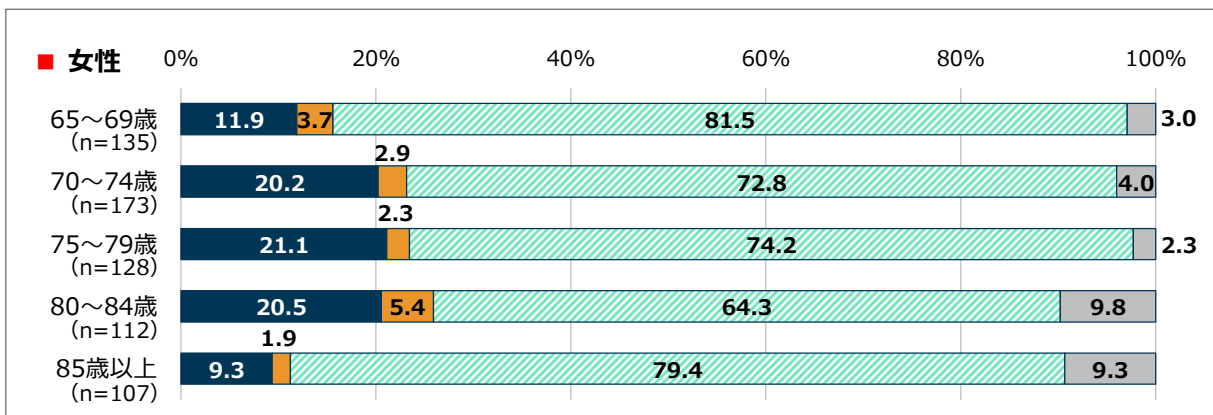
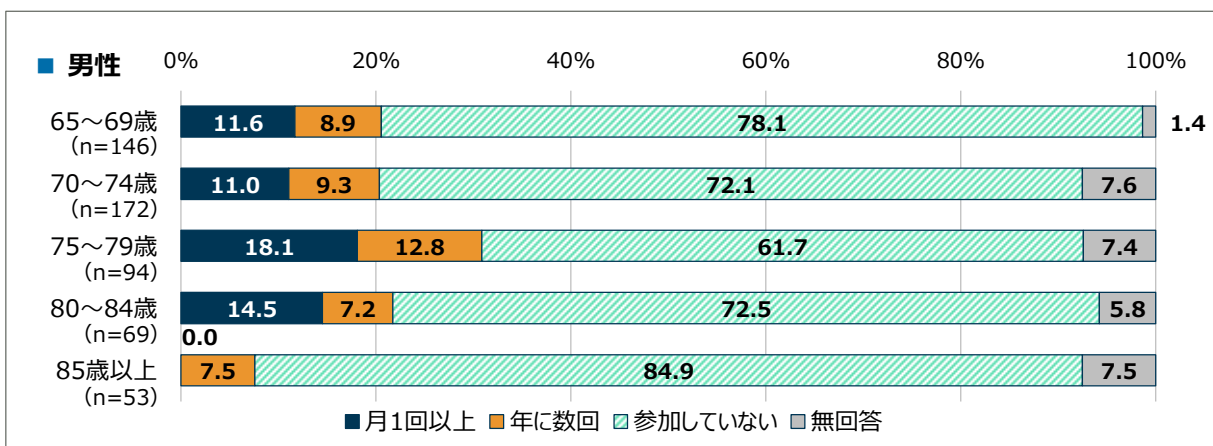


② スポーツ関係のグループやクラブ

月1回以上参加している割合は14.7%で、「参加していない」が73.9%となっています。

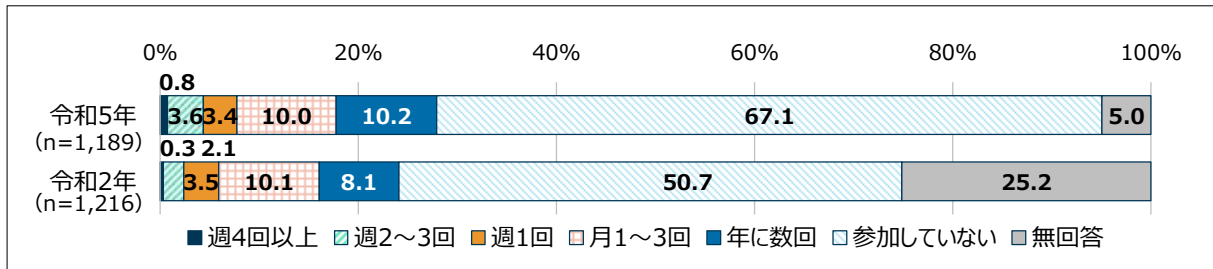


性別・年齢別にみると、「月1回以上」参加している割合は女性のほうがやや高くなっていますが、「年に数回」参加している割合は男性のほうが高くなっています。

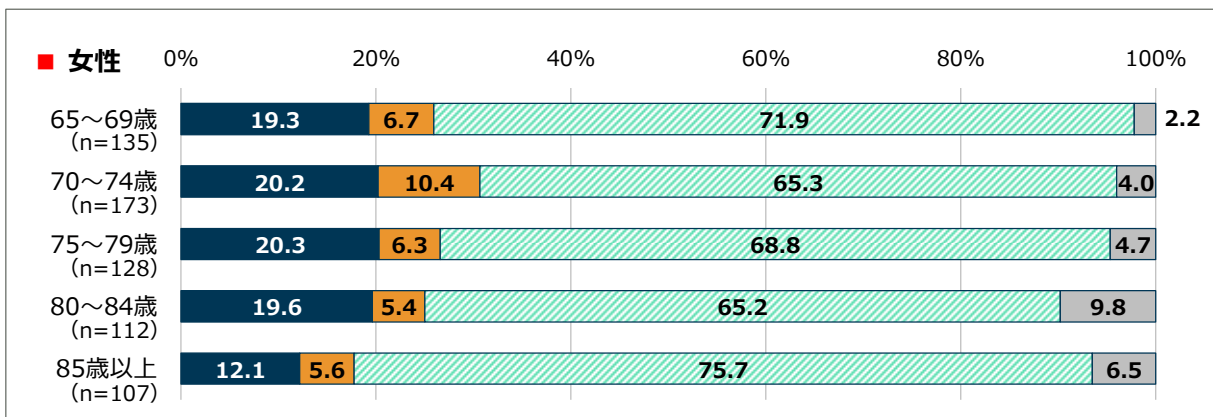
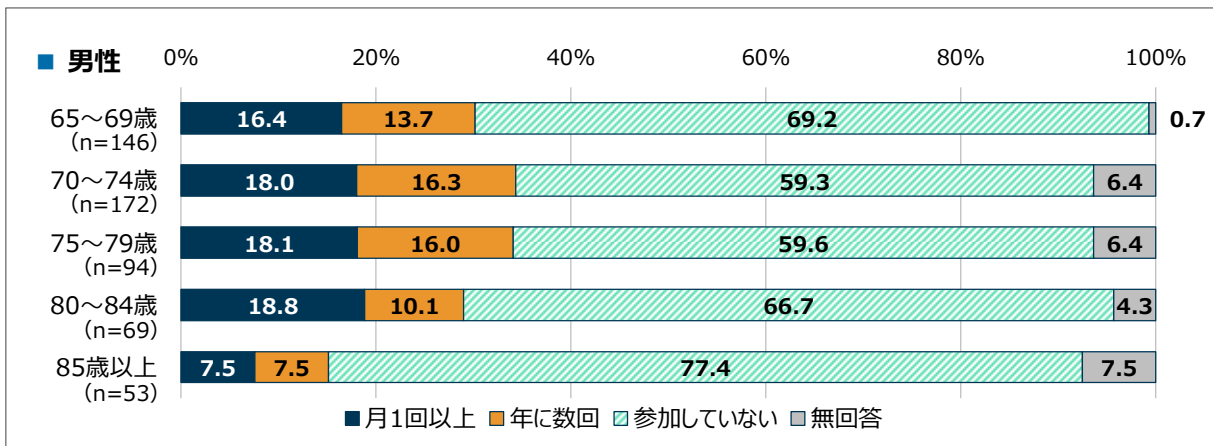


③ 趣味関係のグループ

月1回以上参加している割合は17.8%で、「参加していない」が67.1%となっています。

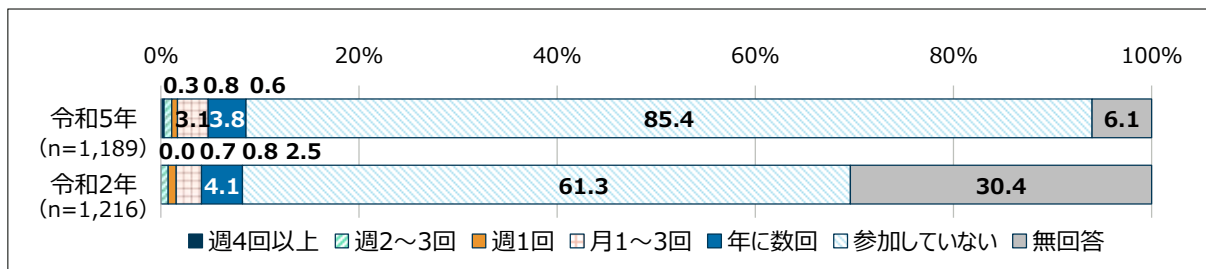


性別・年齢別にみると、「月1回以上」参加している割合は女性のほうがやや高くなっていますが、「年に数回」参加している割合は男性のほうが高くなっています。

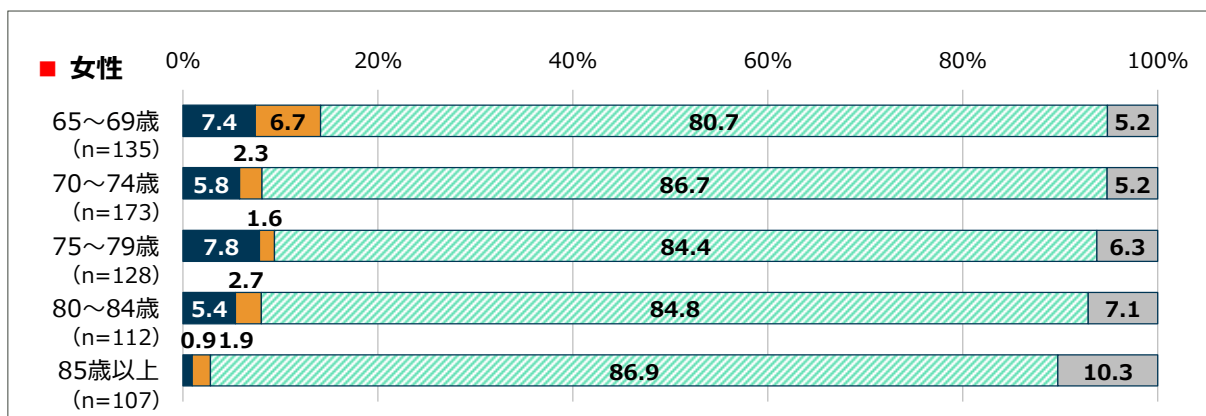
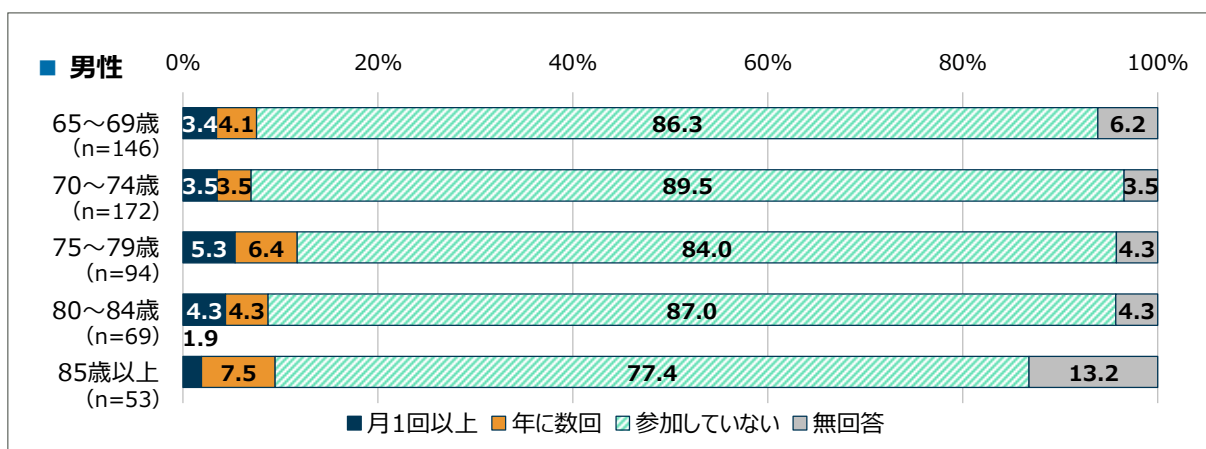


④ 学習・教養サークル

月1回以上参加している割合は4.8%で、「参加していない」が85.4%となっています。

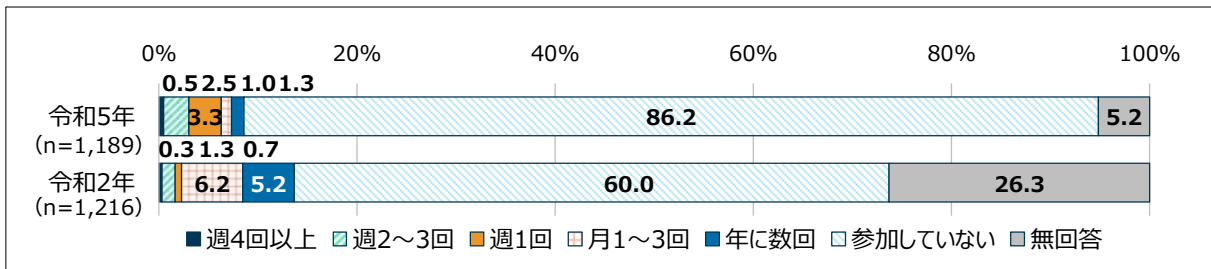


性別・年齢別にみると、「月1回以上」参加している割合は女性のほうがやや高くなっていますが、「年に数回」参加している割合は男性のほうが高くなっています。



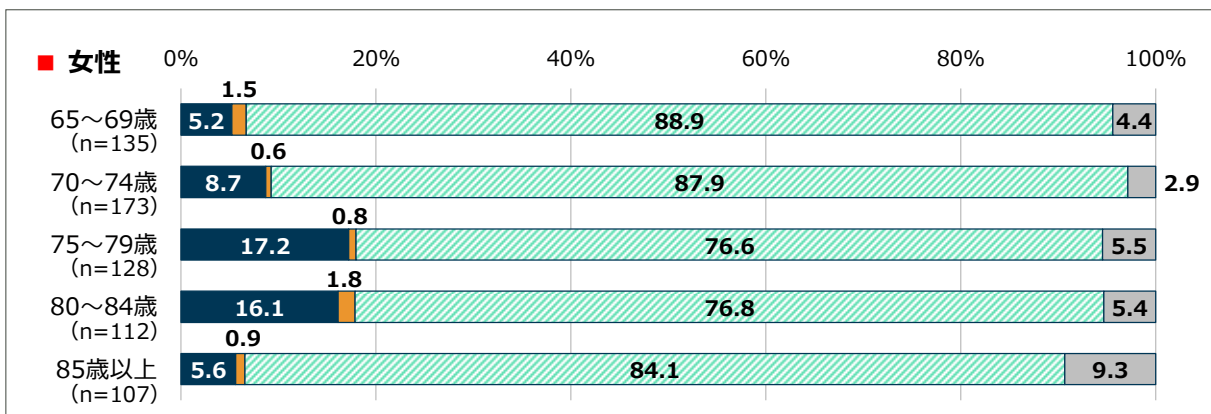
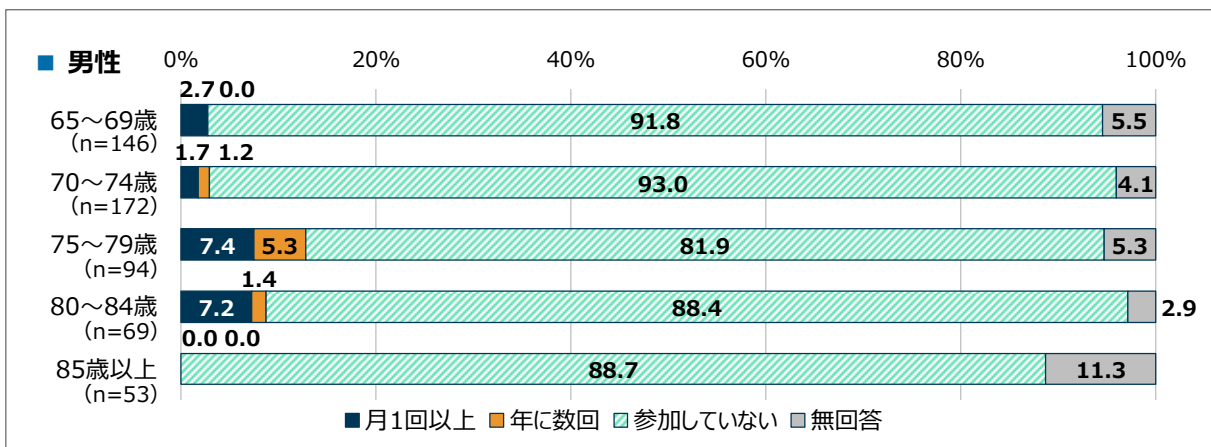
⑤ 若返りトレーニング教室（若トレ）など介護予防のための通いの場

月1回以上参加している割合は7.3%で、「参加していない」が86.2%となっています。



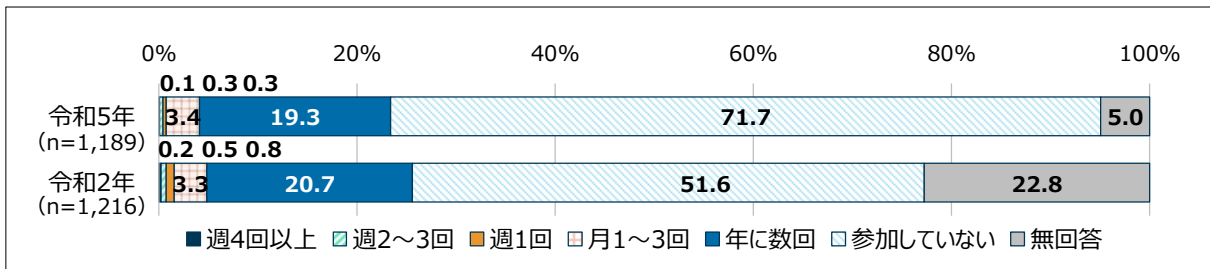
※ 令和2年の調査時は「地域の茶の間など介護予防のための通いの場」となっていました。

性別・年齢別にみると、すべての年齢層で女性のほうが参加している割合が高くなっています。

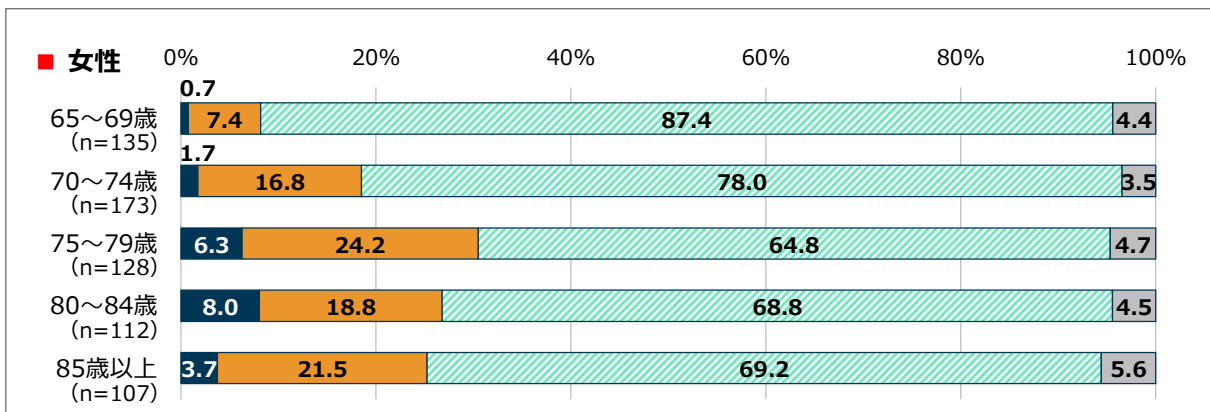
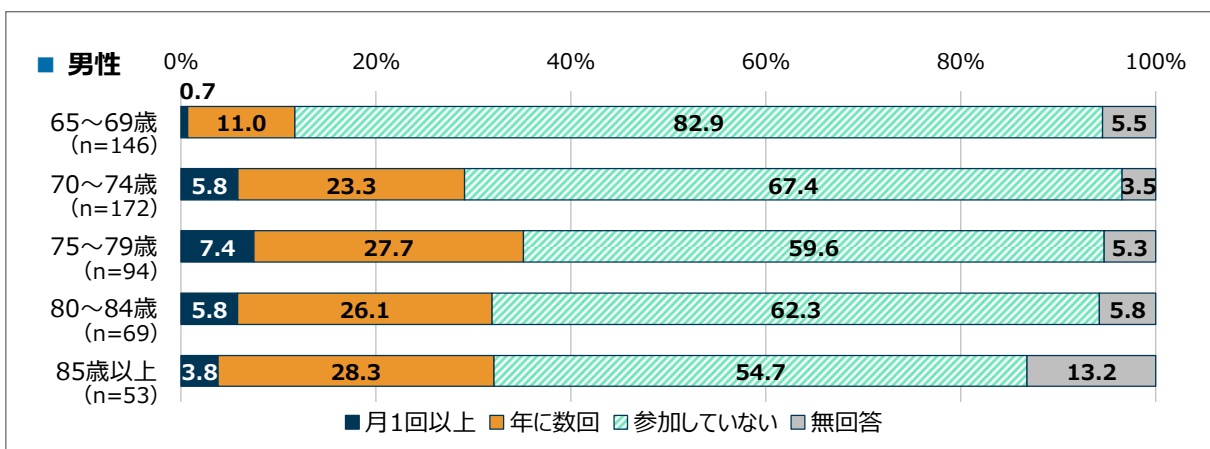


⑥ 地域の老人クラブ

月1回以上参加している割合は4.1%で、「参加していない」が71.7%となっています。

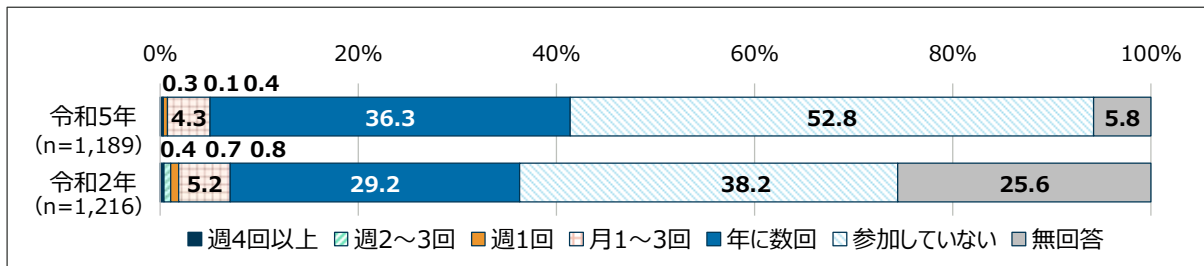


性別・年齢別にみると、男性のほうが参加している割合が高くなっています。男性・女性ともに75～79歳で参加している割合が最も高くなっています。

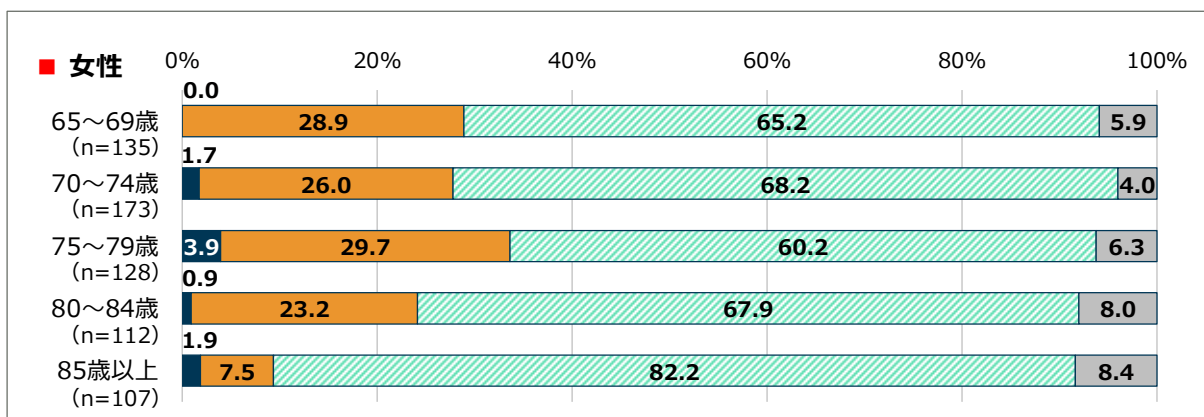
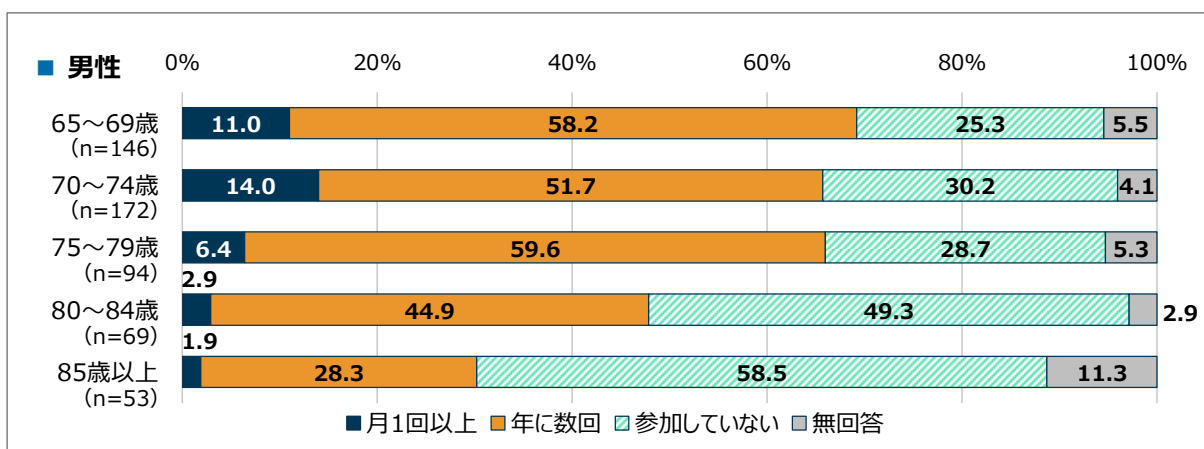


⑦ 町内会・自治会

月1回以上参加している割合は5.1%で、「参加していない」が52.8%となっています。

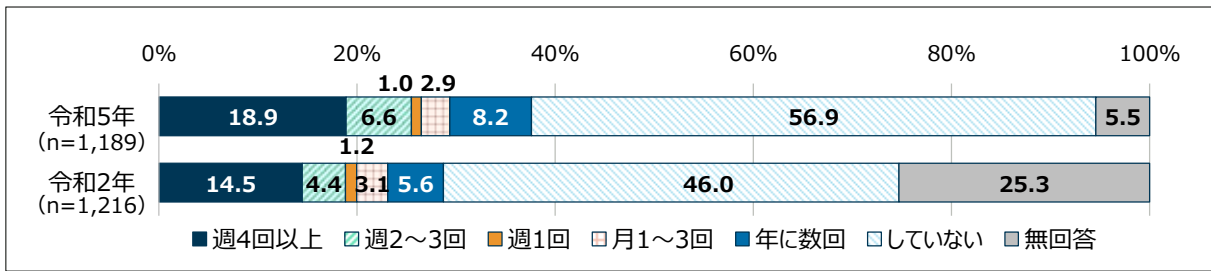


性別・年齢別にみると、男性のほうが参加している割合が高くなっています。また、男性・女性ともに年齢が上がるにつれて参加している割合が低くなる傾向がみられます。

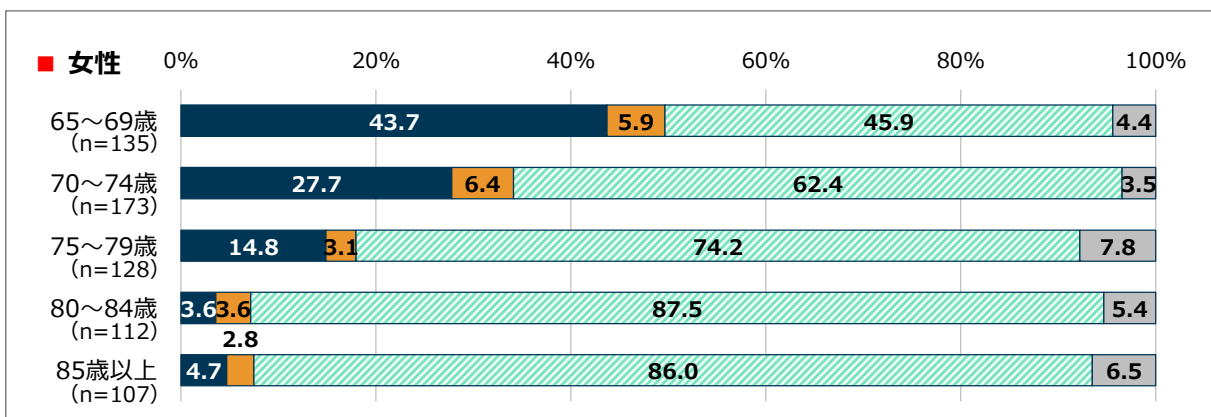
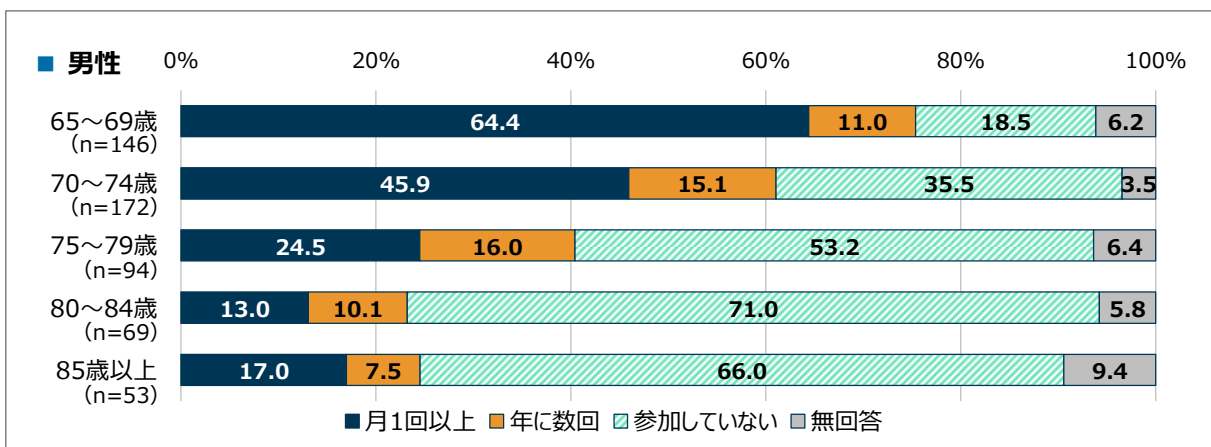


⑧ 収入のある仕事

「週4回以上」が18.9%で、月1回以上仕事をしている割合は29.4%となっています。



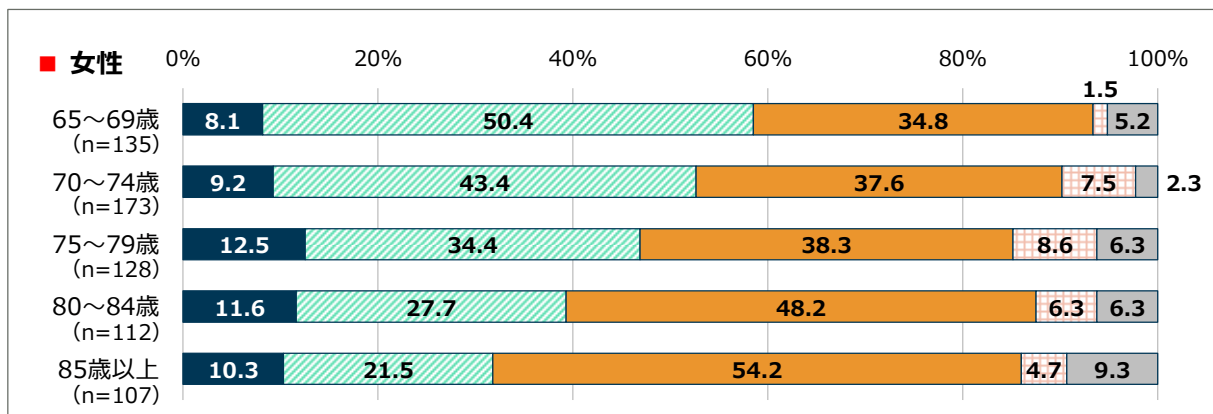
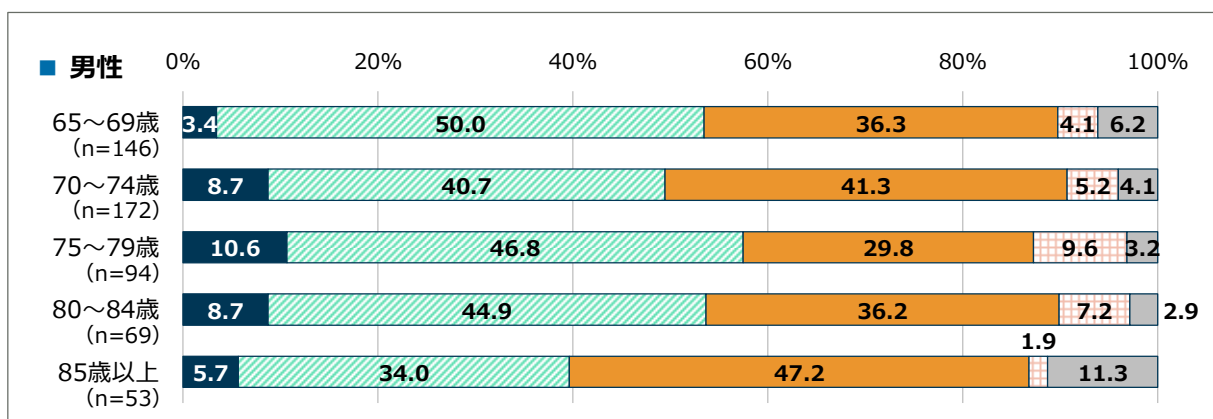
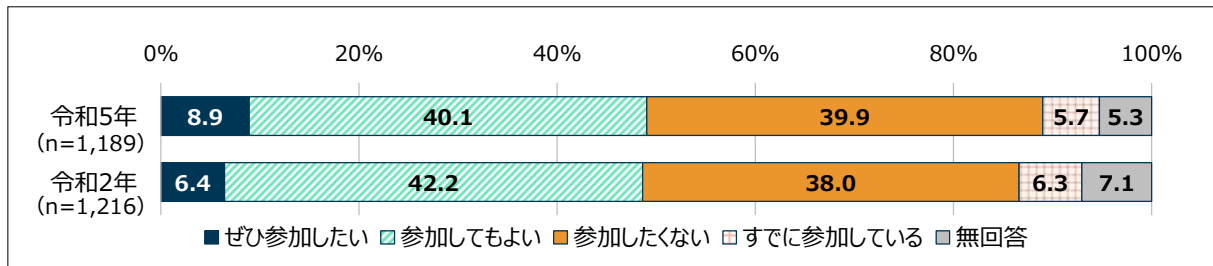
性別・年齢別にみると、男性のほうが収入のある仕事をしている割合が高くなっています。また、男性・女性ともに年齢が上がるにつれて仕事をしている割合が低くなる傾向がみられます。



地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」が40.1%と最も高くなっています。

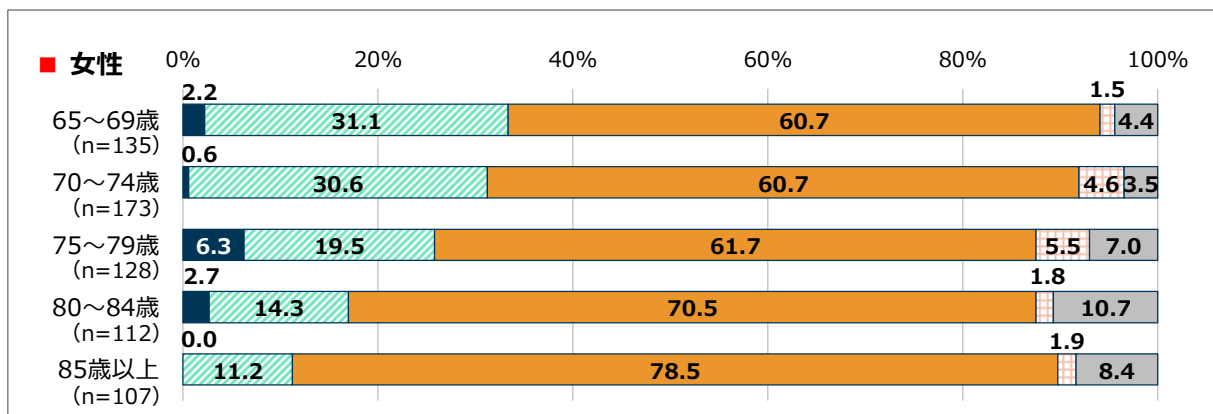
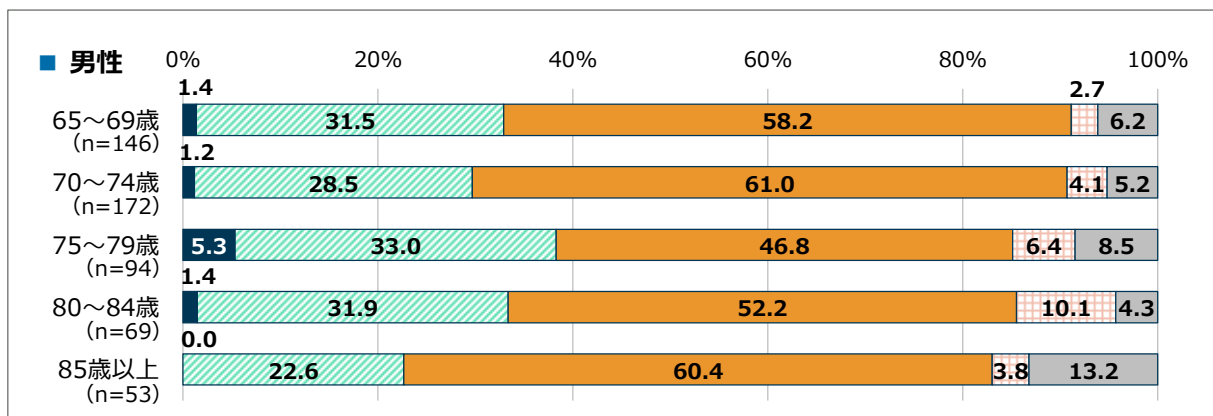
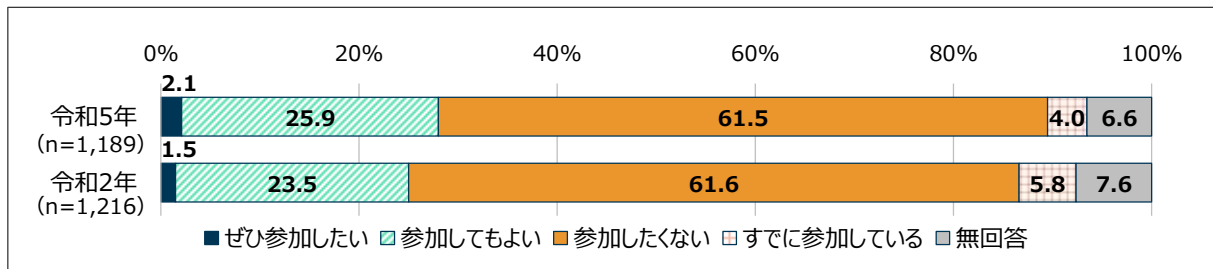
性別・年齢別にみると、男性は75～79歳で参加意向が最も高くなっています。女性は、年齢が上がるほど「参加したくない」割合が高くなる傾向がみられます。



地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」が61.5%と最も高くなっています。

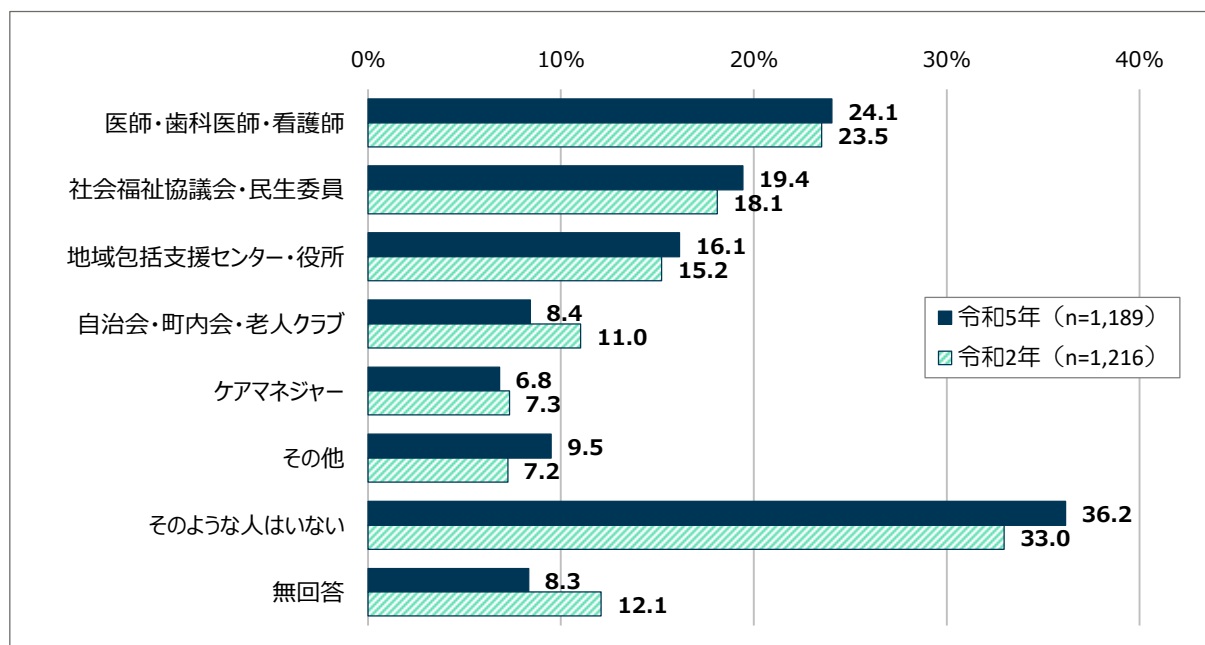
性別・年齢別にみると、男性のほうが参加意向が高くなっています。男性は75～79歳で参加意向が最も高くなっています。女性は、年齢が上がるにつれて「参加したくない」割合が高くなっています。



たすけあいについて

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

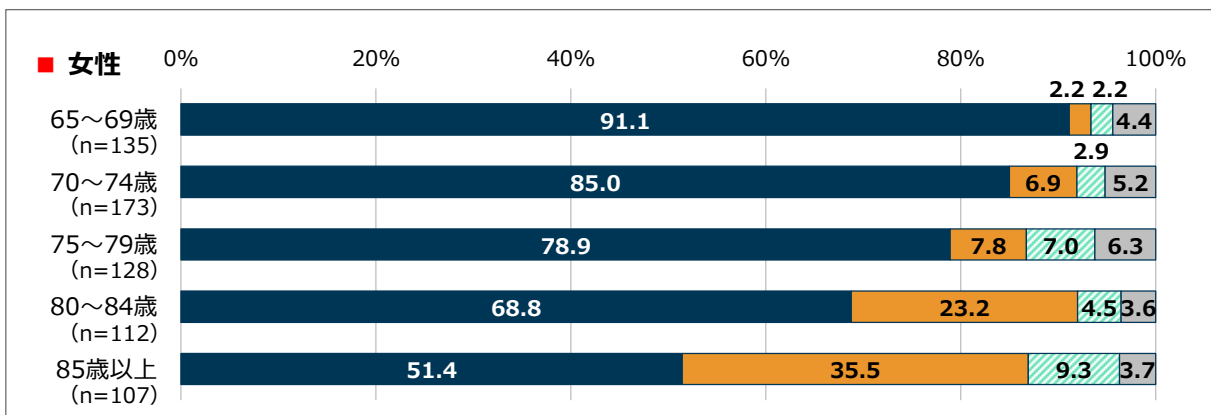
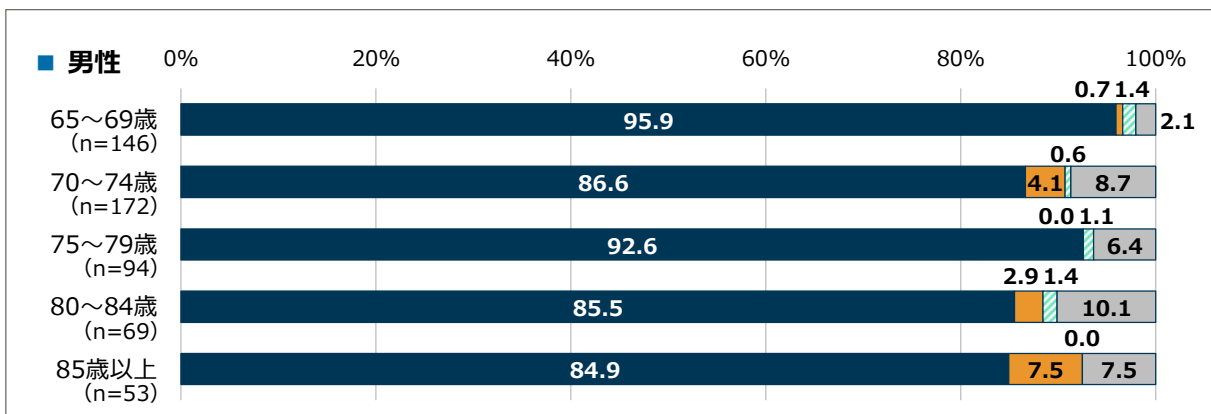
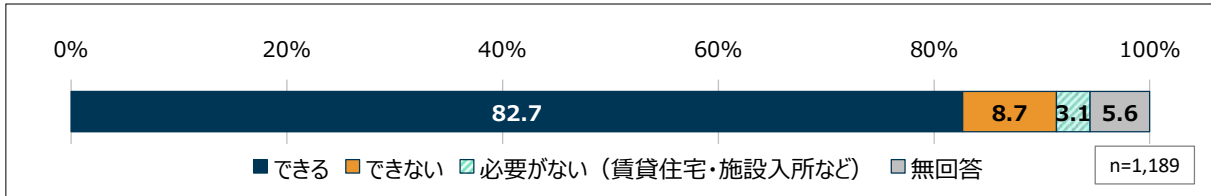
「医師・歯科医師・看護師」が24.1%と最も高く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」が19.4%、「地域包括支援センター・役所」が16.1%となっています。一方で「そのような人はいない」は36.2%となっています。



住宅前道路除雪は、自力または家族の協力で除雪することができますか

「できる」が82.7%、「できない」が8.7%となっています。

性別・年齢別にみると、男性のほうが「できる」割合が高くなっています。女性は年齢が上がるにつれて「できない」割合が高くなっており、85歳以上の女性では「できない」が35.5%となっています。



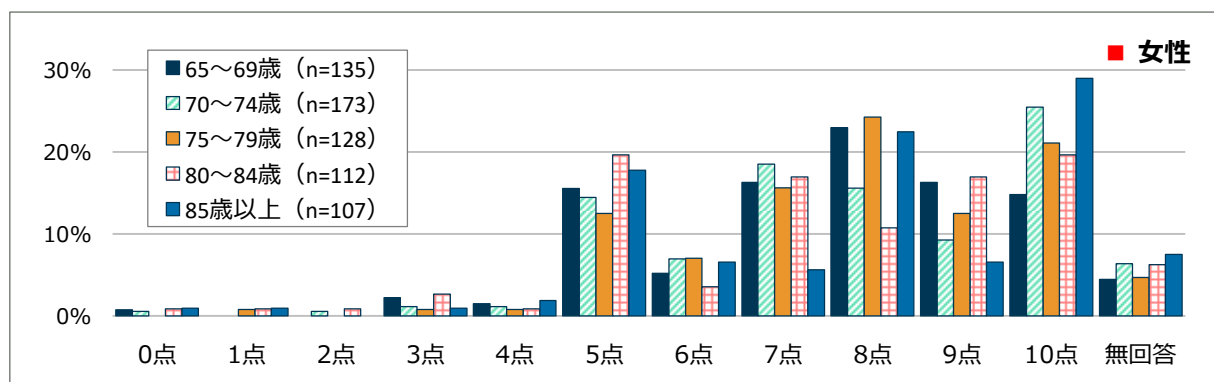
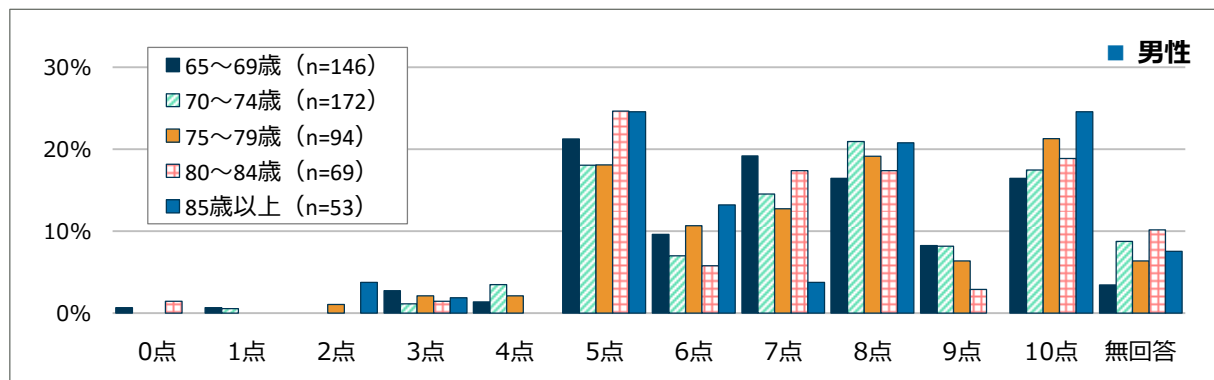
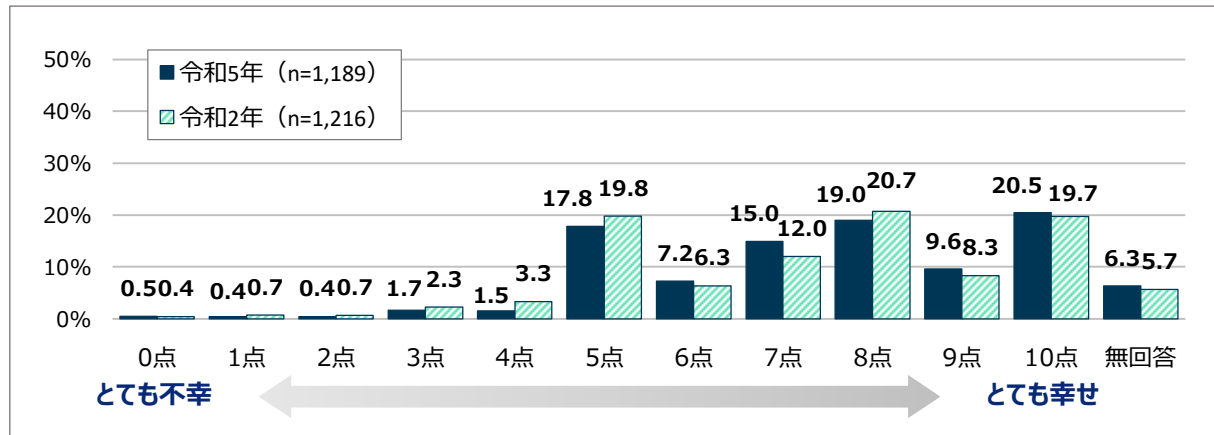
健康について

あなたは、現在どの程度幸せですか

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

「10点」が20.5%と最も高く、次いで「8点」が19.0%で、平均は7.40点となっています。

性別・年齢別にみると、男性の平均点は7.19点、女性の平均点は7.57点で女性のほうが平均点が高くなっています。年齢別に明らかな傾向はみられませんでした。



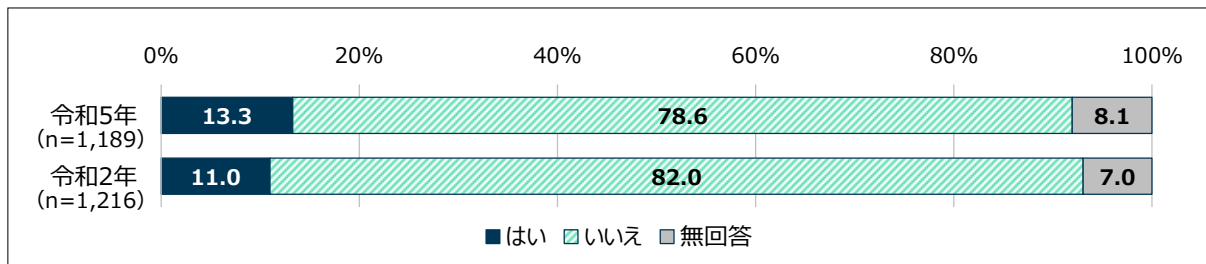
性別・年齢別 平均点

男性					女性				
65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
7.06点	7.31点	7.31点	7.10点	7.06点	7.47点	7.64点	7.74点	7.33点	7.64点

認知症にかかる相談窓口の把握について

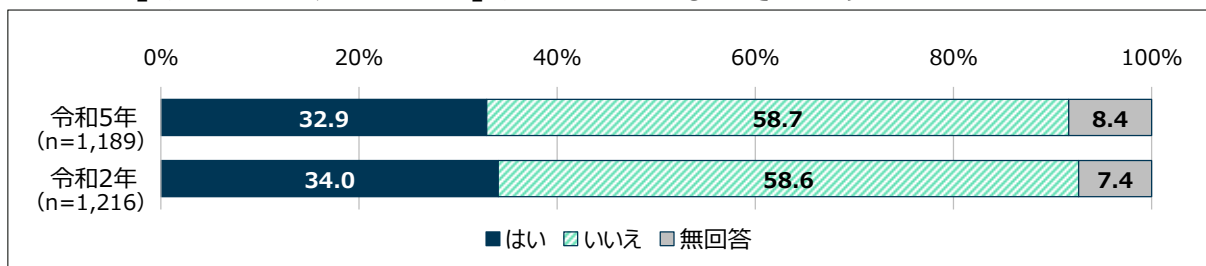
認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」が13.3%、「いいえ」が78.6%となっています。



認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」が32.9%、「いいえ」が58.7%となっています。



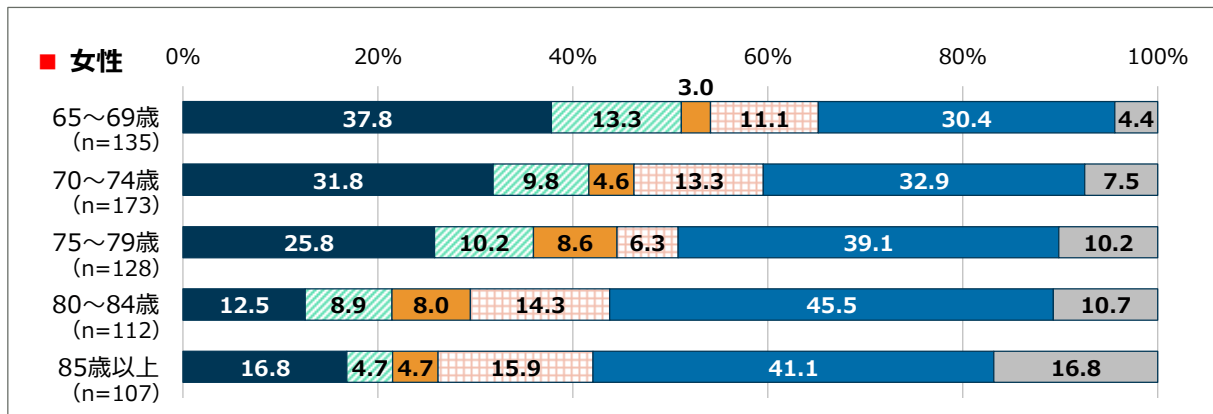
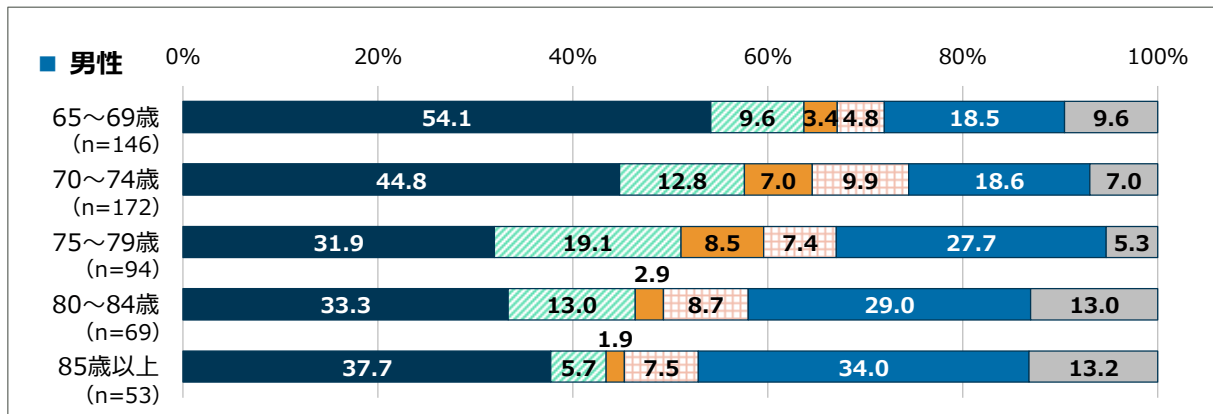
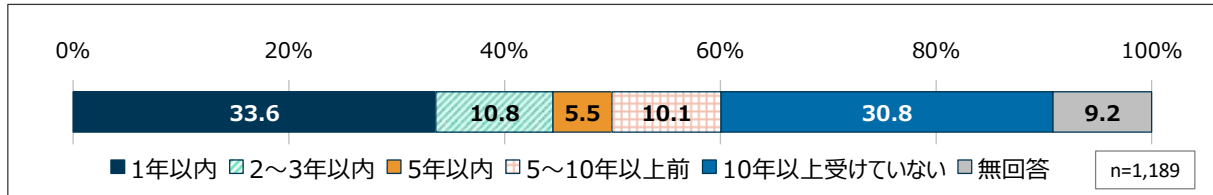
聞こえ方（聴力）について

※ 令和2年の調査にこの設問はありませんでした。

最近、聴力検査（健康診断を含む）を受けたことがありますか

「1年以内」が33.6%、「10年以上受けていない」が30.8%となっています。

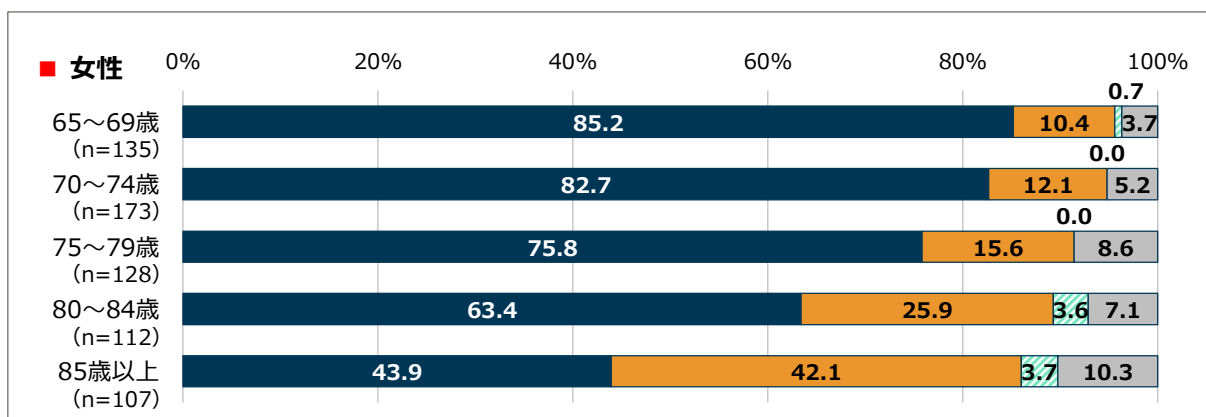
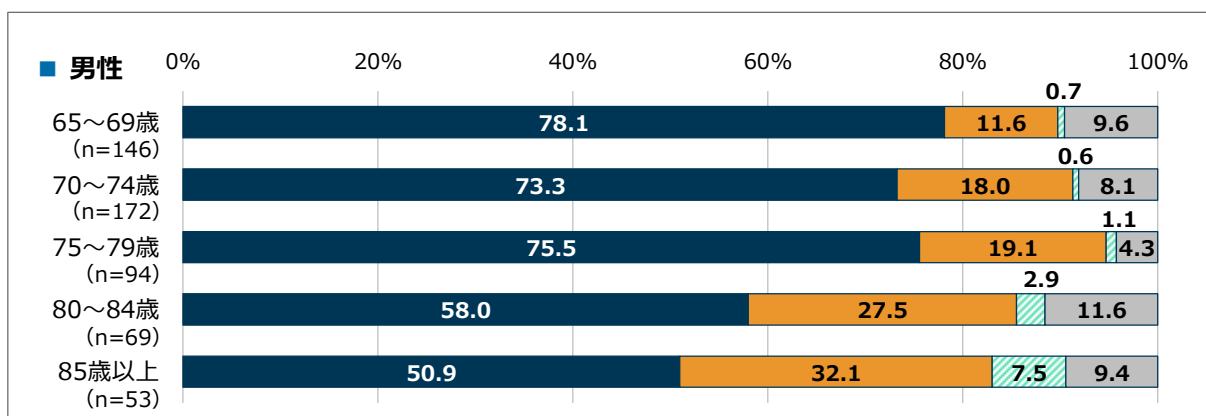
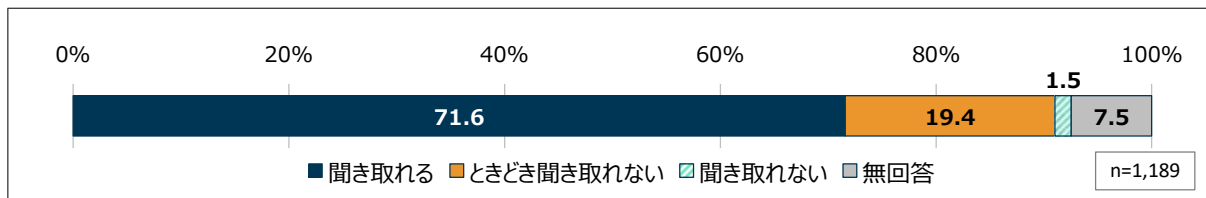
性別・年齢別にみると、男性のほうが「1年以内」に聴力検査を受けている割合が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて「10年以上受けていない」割合が高くなる傾向がみられます。



静かな所で、家族や友人と1対1で向かいあって会話するとき、聞き取れますか

「聞き取れる」が71.6%、「ときどき聞き取れない」が19.4%で、「聞き取れない」は1.5%となっています。

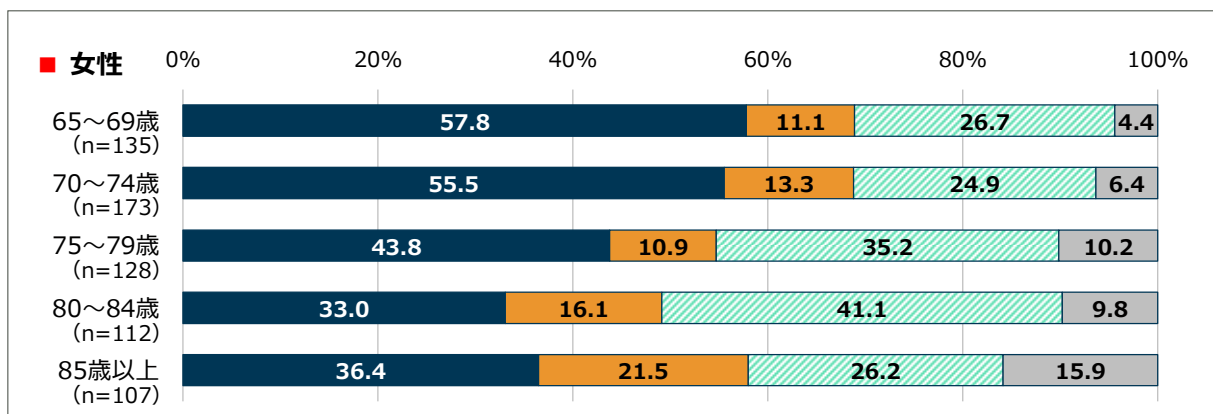
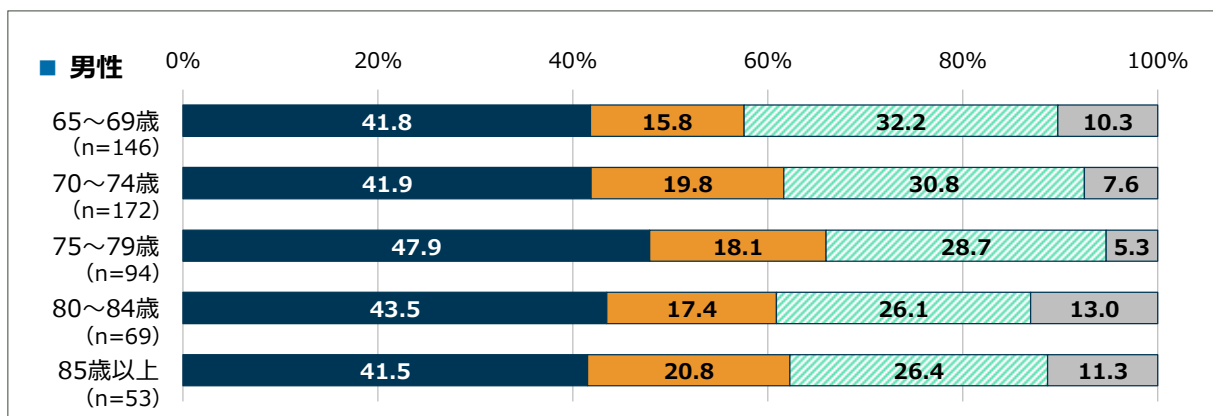
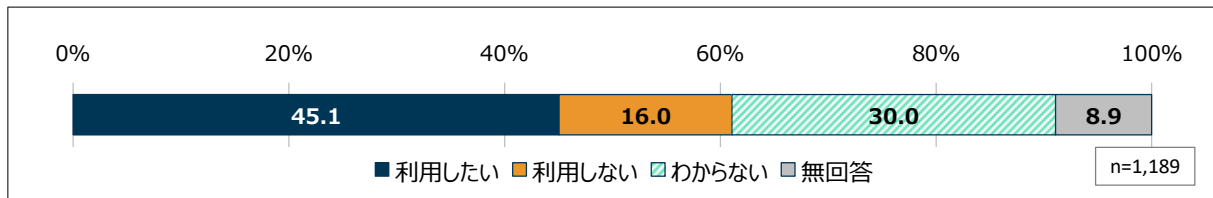
性別・年齢別にみると、女性のほうが「聞き取れる」割合が高くなっています。男性・女性ともに年齢が上がるにつれて「聞き取れる」割合が低くなっており、特に女性でその傾向が明らかになっています。



聴力の低下により日常生活に支障をきたしている高齢者の方のコミュニケーション能力の維持・向上を図るため、補聴器の購入費の一部を助成する場合、利用したいと思いますか

「利用したい」が45.1%、「利用しない」が16.0%となっています。

性別・年齢別にみると、男性は年齢にかかわらず「利用したい」が40%強となっています。女性は年齢が上がるにつれて利用意向が低くなる傾向がみられます。

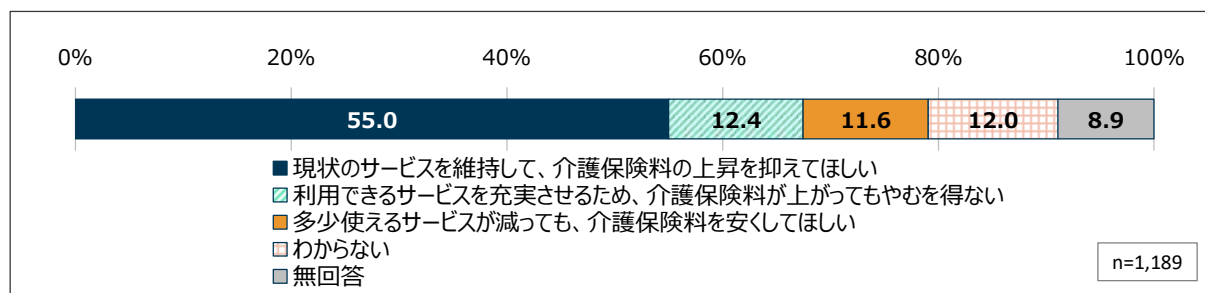


介護保険料について

※ 令和2年の調査にこの設問はありませんでした。

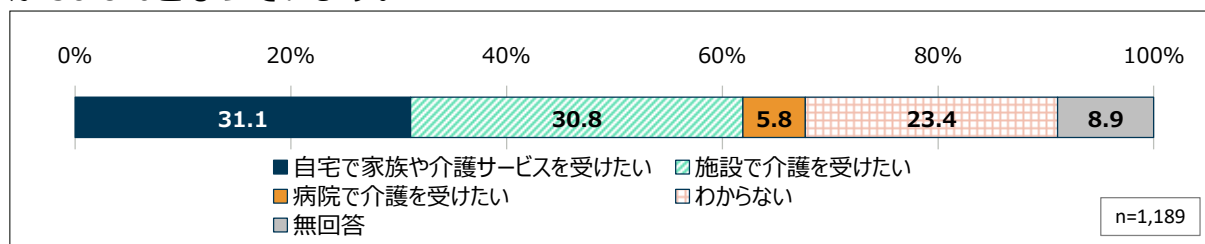
介護保険サービス利用者の増加により、サービス量を現状程度に保っていくためには、その財源となる介護保険料も高くなっていきます。あなたは、今後の介護保険サービスと介護保険料の関係について、どのように思いますか

「現状のサービスを維持して、介護保険料の上昇を抑えてほしい」が55.0%と最も高くなっています。



今後（現在も含む）、介護が必要となった場合、あなたはどのような介護（介護保険サービス）を利用したいと思いますか

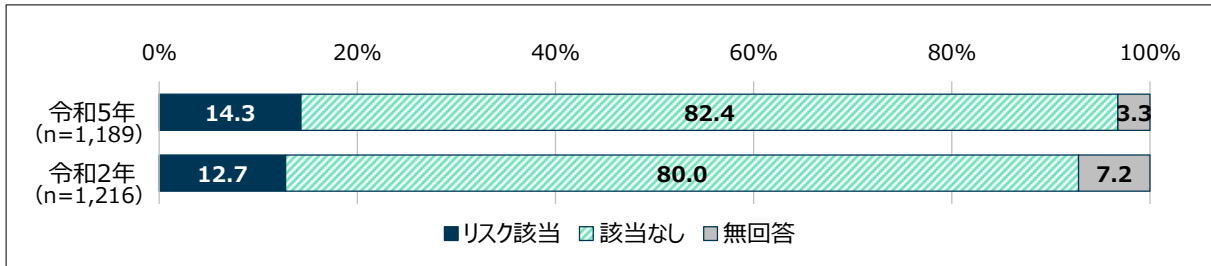
「自宅で家族や介護サービスを受けたい」が31.1%、「施設で介護を受けたい」が30.8%となっています。



評価項目別のリスク分析結果

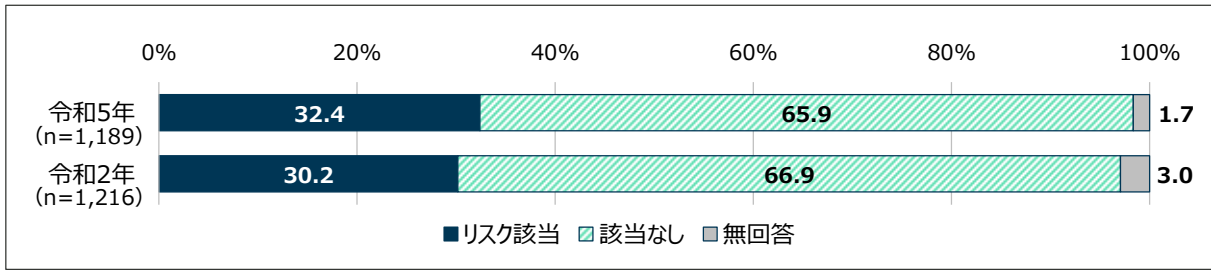
1. 運動器の機能

運動器の機能低下のリスク該当者は 14.3%となっています。



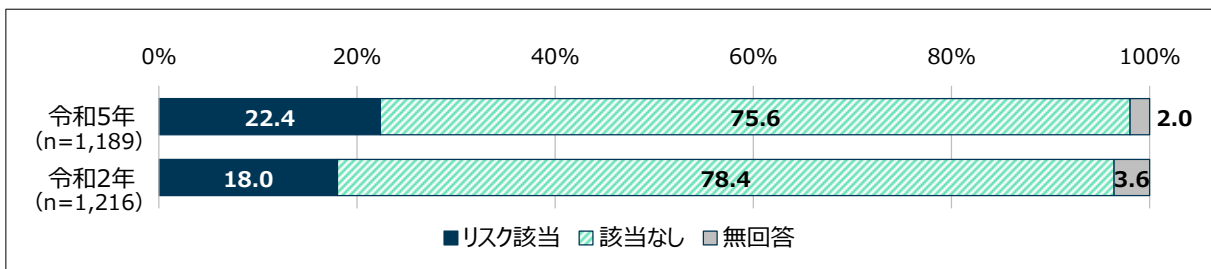
2. 転倒

転倒のリスク該当者は 32.4%となっています。



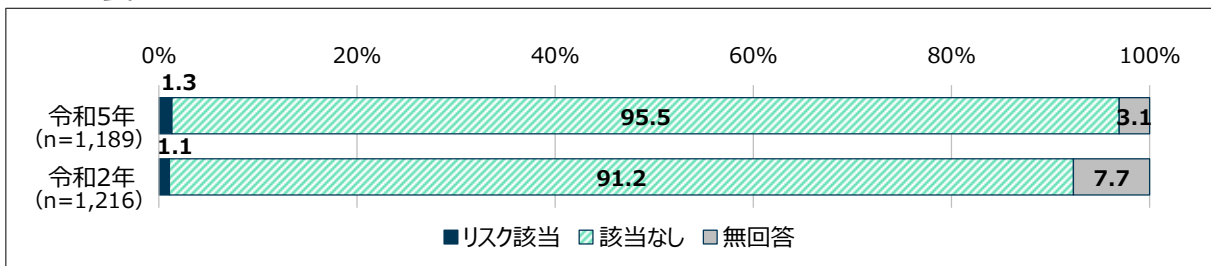
3. 閉じこもり

閉じこもり傾向のリスク該当者は 22.4%となっています。



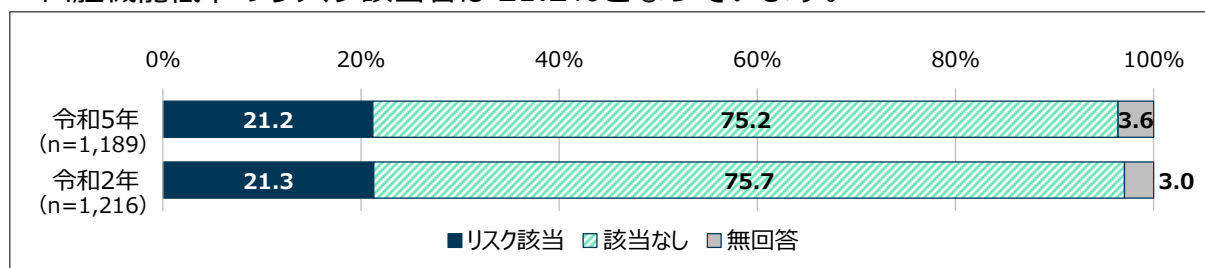
4. 低栄養

低栄養のリスク該当者は 1.3%となっています。



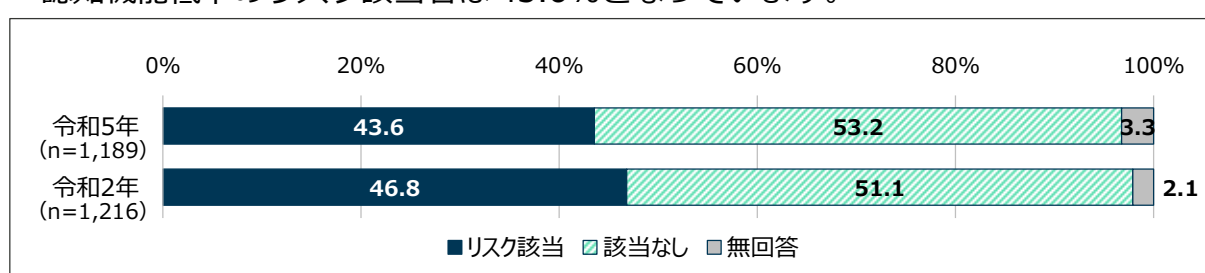
5. 口腔機能

口腔機能低下のリスク該当者は 21.2% となっています。



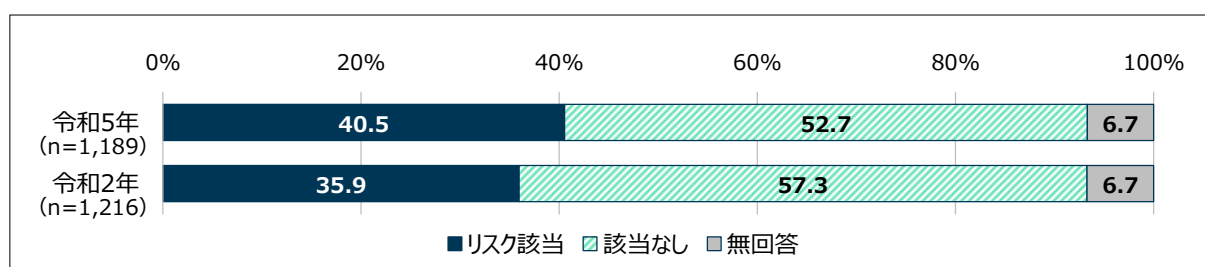
6. 認知機能

認知機能低下のリスク該当者は 43.6% となっています。



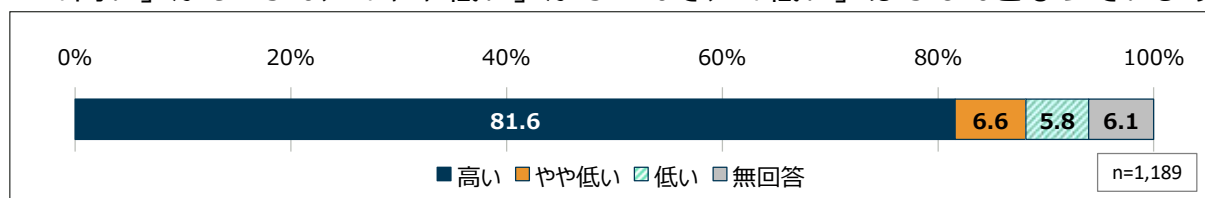
7. うつ傾向

うつ傾向のリスク該当者は 40.5% となっています。



8. IADL^{*}

「高い」が 91.5%、「やや低い」が 3.7%で、「低い」は 3.0% となっています。



※ 令和2年の調査は判定基準が異なるため比較していません。

*IADL：手段的日常生活動作（Instrumental Activities of Daily Living）。買物、電話、金銭管理などの複雑な動作を行う能力のことです。点数が高いほど自立していることを表します。